

2024年度
決算資料

Consolidated Financial Results

2025年5月14日

株式会社**TBS**ホールディングス

目次

—

2024年度 通期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2026の進捗

その他トピックス

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 Tel : 03-3746-1111 (代表)

株式会社TBSホールディングス 総務局コーポレート業務推進部IR室

HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

▶ 2024年度 通期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2026の進捗

その他トピックス

参考資料

連結決算 ポイントと業績見通し

2024年度 決算

- 連結全体で、増収増益。連結売上高としては、過去最高を更新。
- メディア・コンテンツ事業は、スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入の伸長などにより、増収増益。
- ライフスタイル事業は、2024年6月にライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響を、スタイリングライフグループでの「サボリーノ」「乾燥さん」といった化粧品などの大幅な伸長や、2023年6月に連結したやる気スイッチグループの増加が上回り、増収。
一方、やる気スイッチグループでの人件費や広告宣伝費の増加、のれんの償却費の増加などにより、減益。
- 不動産・その他事業は、賃料収入の増加などにより、増収増益。

連結	2023年度	2024年度	前年差
売上高	394,309	406,700	+12,391
営業利益	15,175	19,465	+4,290
経常利益	27,653	31,604	+3,951
親会社株主に帰属する 当期純利益	38,126	43,914	+5,788

単位:
百万円

2025年度 業績見通し

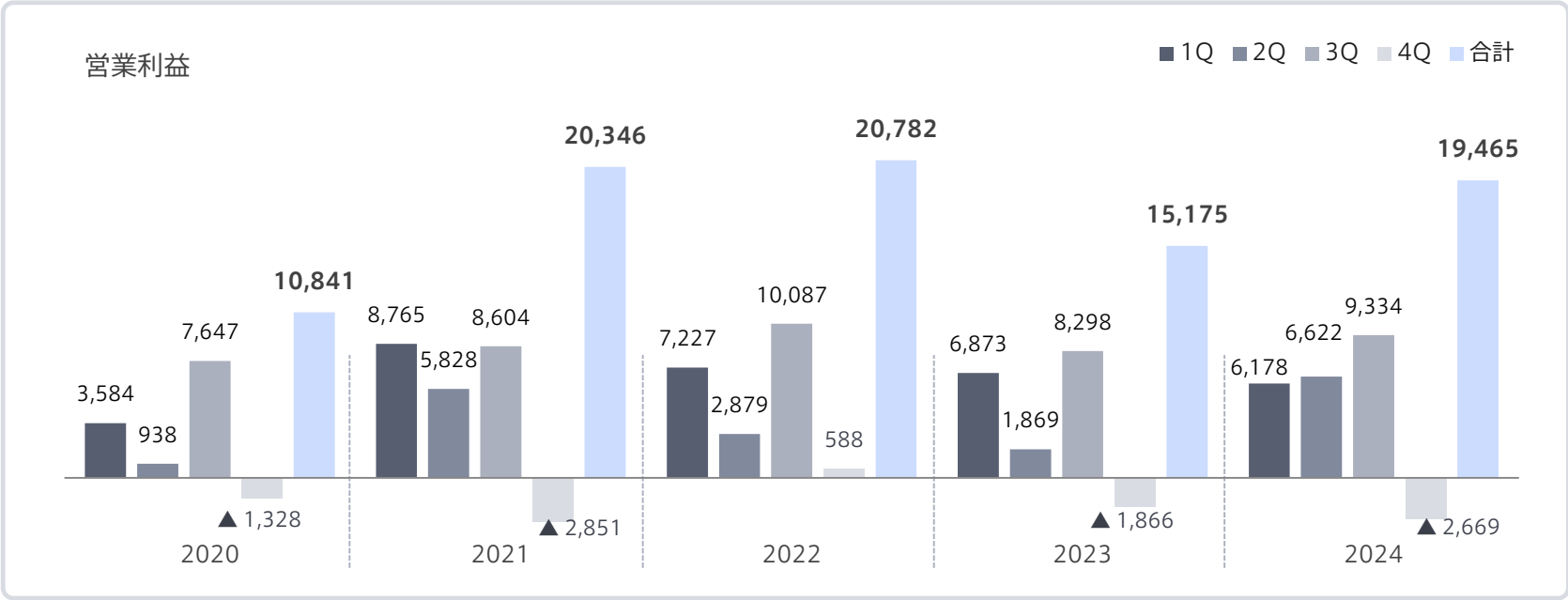
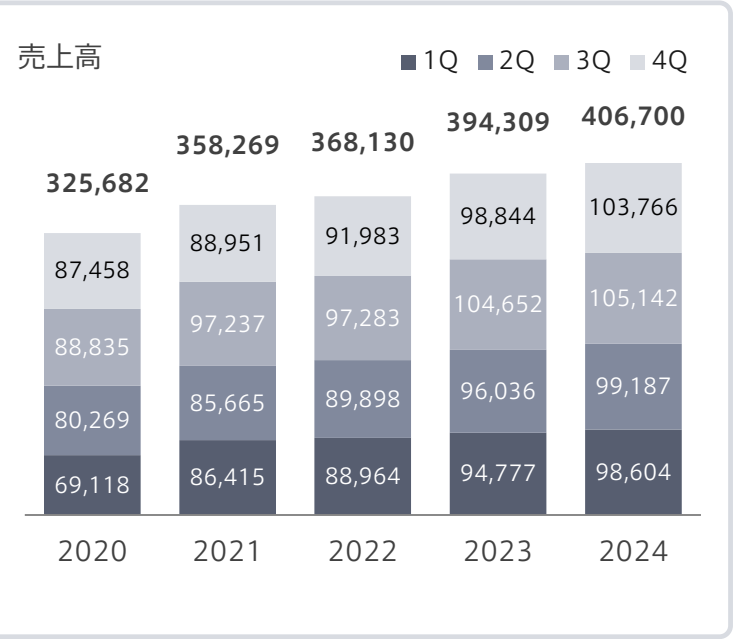
- 連結全体で、増収かつ経常利益までの増益を予想。
- メディア・コンテンツ事業は、TBSテレビでの放送収入や配信広告収入の伸長、グループ会社における新規IP関連や、映画のタイムレスバリューを意識した拡張などを見込み、増収増益を予想。
- ライフスタイル事業は、スタイリングライフグループでは顧客数を、やる気スイッチグループでは生徒数を伸ばすことなどにより、増収増益を予想。
- 不動産・その他事業は、賃料収入の好調継続の一方、修繕費などの増加が見込まれるため、増収減益を予想。

連結	2024年度	2025年度 予想	前年差
売上高	406,700	425,000	+18,299
営業利益	19,465	21,500	+2,034
経常利益	31,604	34,500	+2,895
親会社株主に帰属する 当期純利益	43,914	27,500	▲16,414

単位:
百万円

連結損益計算書

連結	2023年度	2024年度	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	394,309	406,700	+12,391	+3.1%	
営業利益	15,175	19,465	+4,290	+28.3%	
経常利益	27,653	31,604	+3,951	+14.3%	
親会社株主に帰属する当期純利益	38,126	43,914	+5,788	+15.2%	



連結セグメント別 実績

	外部売上				営業利益			
	2023年度	2024年度	前年差	増減率	2023年度	2024年度	前年差	増減率
メディア・コンテンツ	287,854	296,242	+8,388	+2.9%	3,927	8,490	+4,563	+116.2%
ライフスタイル	89,903	93,576	+3,673	+4.1%	4,178	3,505	▲672	▲16.1%
不動産・その他	16,552	16,881	+329	+2.0%	7,066	7,468	+401	+5.7%
調整額	-	-	-	-	3	0	▲2	-
連結	394,309	406,700	+12,391	+3.1%	15,175	19,465	+4,290	+28.3%

単位:
百万円

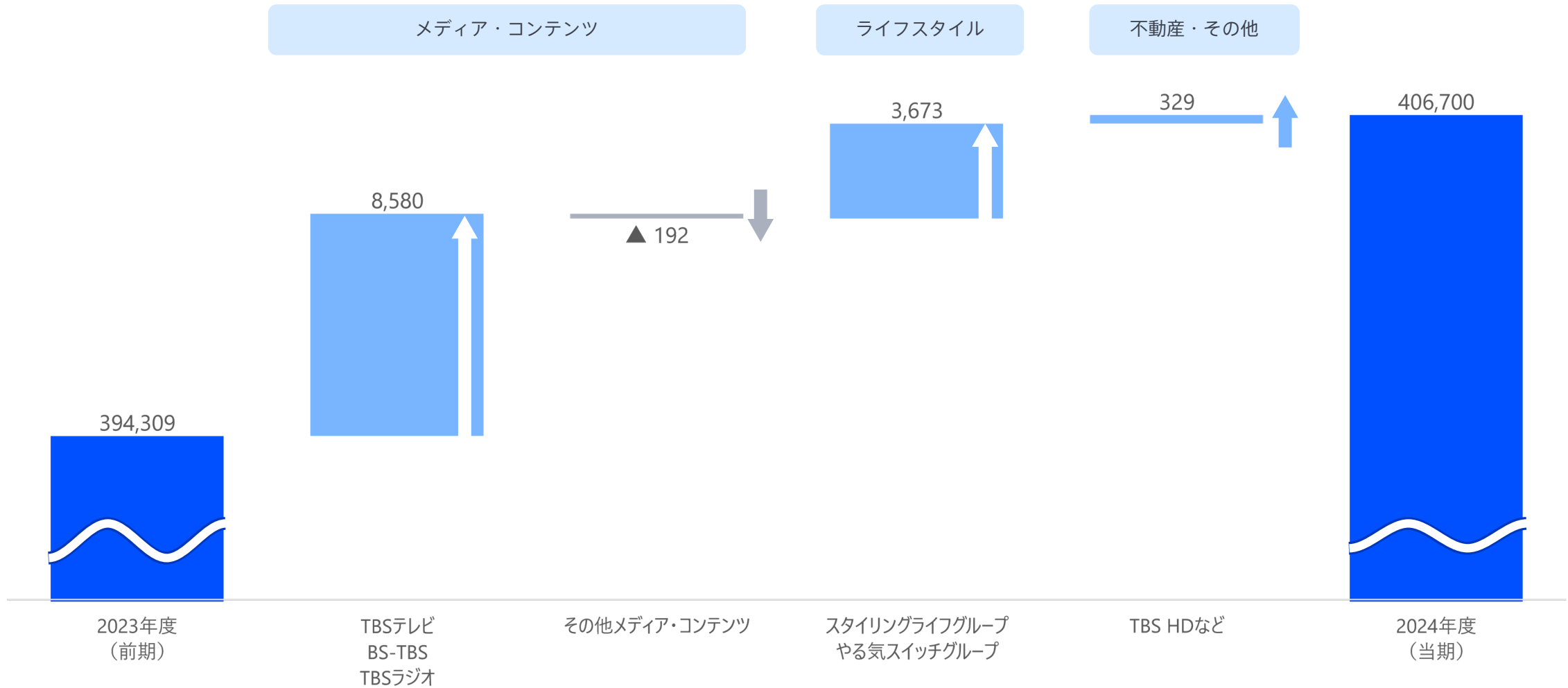
増減要因	外部売上	営業利益
メディア・コンテンツ	TBSテレビ+8,426 TBSスパークル+1,851 TCエンタテインメント▲3,256	TBSテレビ+4,073 TBS HD+1,128 TBSスパークル+885 TCエンタテインメント▲438
ライフスタイル	やる気スイッチグループ+6,839 スタイリングライフグループ▲3,165	スタイリングライフグループ+120 やる気スイッチグループ▲792
不動産・その他	TBS HD+498 TBSヘクサ▲107	TBS HD+207 TBSサンワーク+174

単位:
百万円

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

単位：百万円

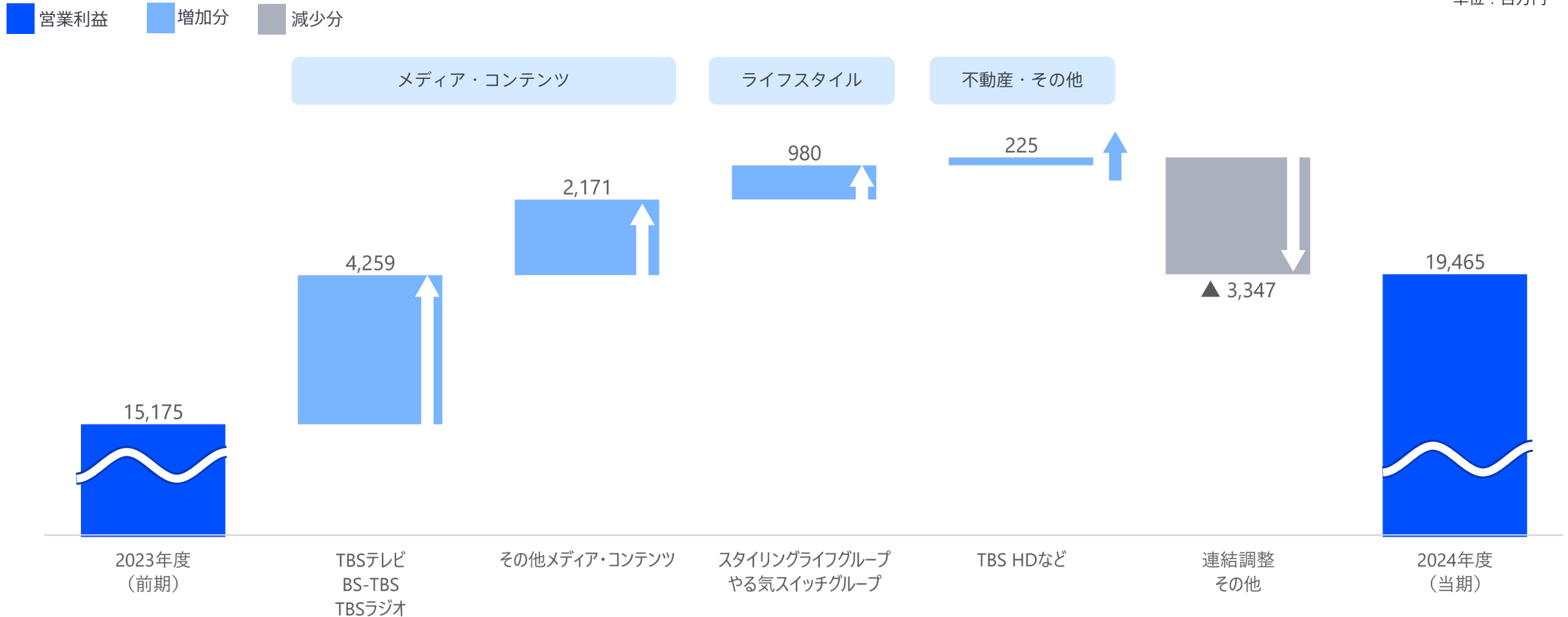


連結セグメント別 営業利益の増減要因

連結全体で、増益。

- ・ メディア・コンテンツ事業 → 放送収入や配信広告収入の増加などにより、増益。
- ・ ライフスタイル事業 → スタイリングライフグループが好調も、連結調整その他に含まれているのれんなどの償却費増加などにより、減益。
- ・ 不動産・その他事業 → 賃料収入の増加などにより、増益。

単位：百万円



TBSテレビ 損益計算書

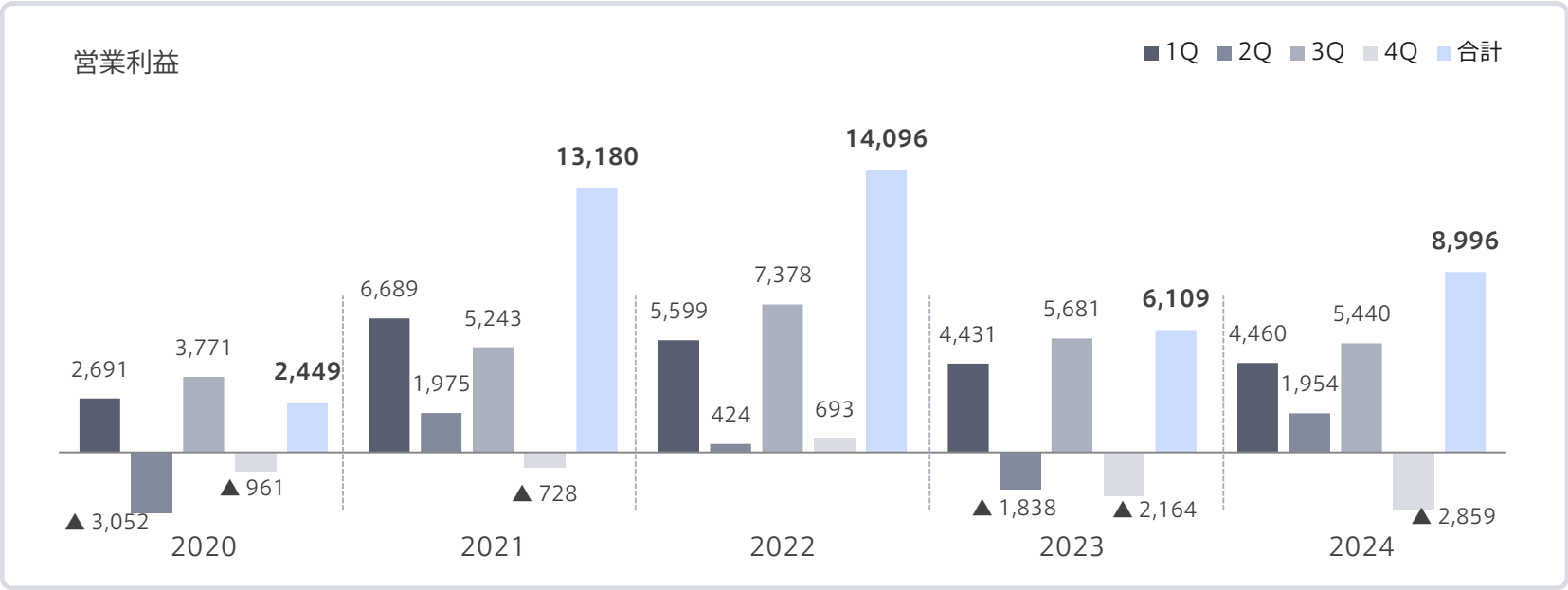
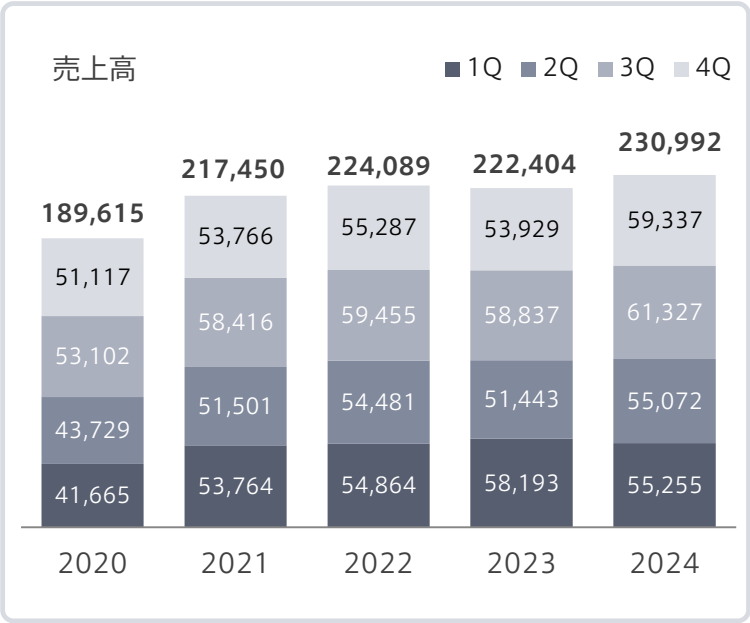
スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入の伸長などにより、増収増益。
当期純利益は、投資有価証券売却益の前期との規模差などにより、増益幅が拡大。

TBSテレビ	2023年度	2024年度	前年差	増減率
売上高	222,404	230,992	+8,588	+3.9%
営業利益	6,109	8,996	+2,886	+47.2%
経常利益	8,644	11,750	+3,105	+35.9%
当期純利益	5,863	25,727	+19,864	+338.8%

単位:
百万円

営業費用など

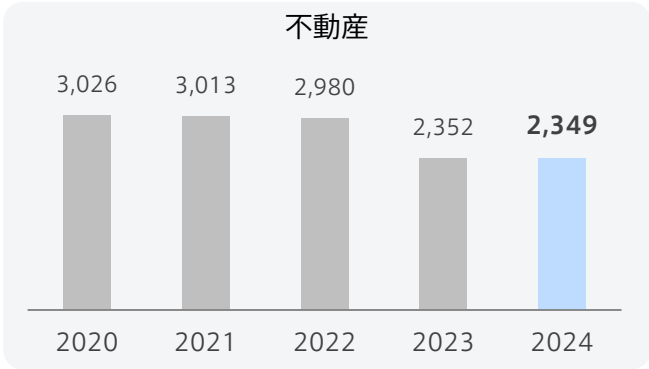
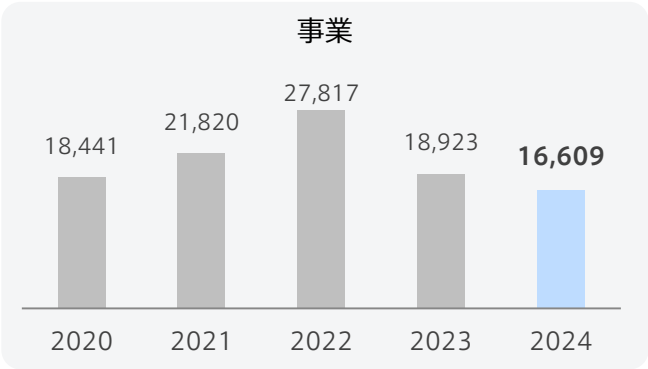
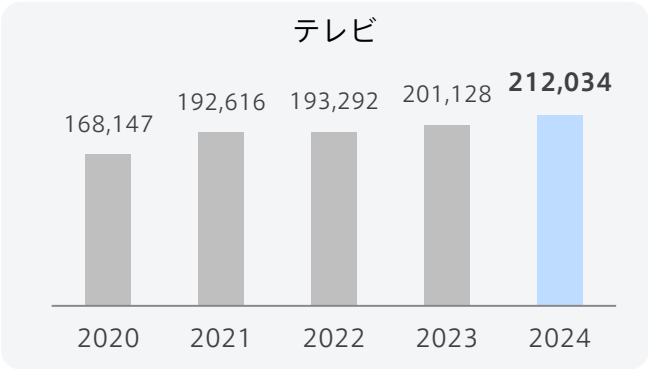
- 番組原価 ▲114
- 代理店手数料 +990 (当期30,720)
- ネットワーク費 +1,112
- 事業部門営業費用 ▲716
- 特別利益 (投資有価証券売却益) 当期 27,564
- 特別損失 (資産撤去費用、投資有価証券評価損) 当期 249



	2024年度	前年差
テレビ	212,034	+10,905
タイム	81,264	▲325
スポット	82,355	+4,578
配信広告	12,048	+3,805
有料配信	11,214	▲931
その他	25,150	+3,779
事業	16,609	▲2,314
不動産	2,349	▲3
収入合計	230,992	+8,588

単位:
百万円

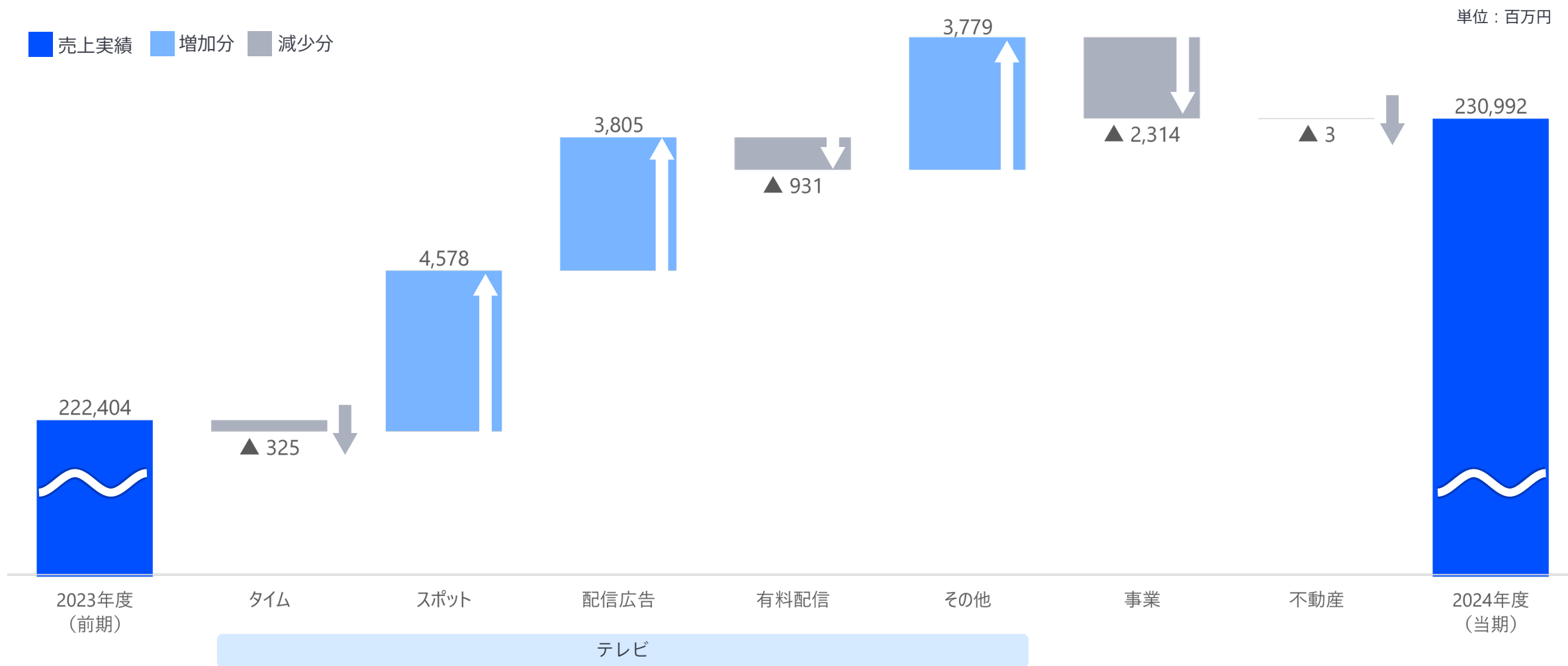
※ 前事業年度において事業部門に含まれていたメディア事業（CS事業）にかかる収入の一部について、2023年7月よりテレビ部門のその他区分で集計しています。
なお、前事業年度について、当該変更による組替は行わずに前年差を算出しています。



TBSテレビ 売上高の増減要因

トータルで、増収。

- ・ テレビ部門 → スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入の伸長、メディア事業の移管などにより、増収。
- ・ 事業部門 → 前年好調であったDVD販売の反動や、ライブエンタテインメントの減収などに加え、メディア事業のテレビ部門への移管により、減収。
メディア事業のテレビ部門への移管の影響を除くと、アニメや映画の増収により、増収を確保。



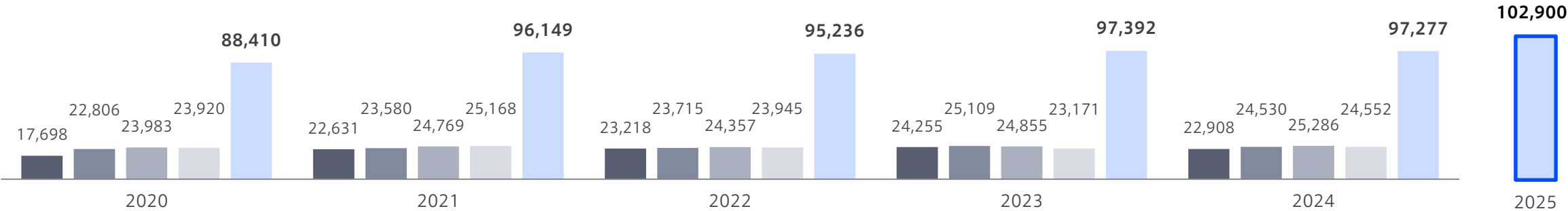
テレビ番組原価（制作費）

第4四半期は、ドラマやグローバル向けコンテンツの強化などにより、増加。通期では、ドラマの反動減などにより、減少。
2025年度は、スポーツ単発の規模差などにより、増加の見込み。

	2023年度	2024年度	前年差	2025年度 見込み
第1四半期	24,255	22,908	▲1,347	
第2四半期	25,109	24,530	▲578	
第3四半期	24,855	25,286	+431	
第4四半期	23,171	24,552	+1,380	
通期累計	97,392	97,277	▲114	102,900

単位：
百万円

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



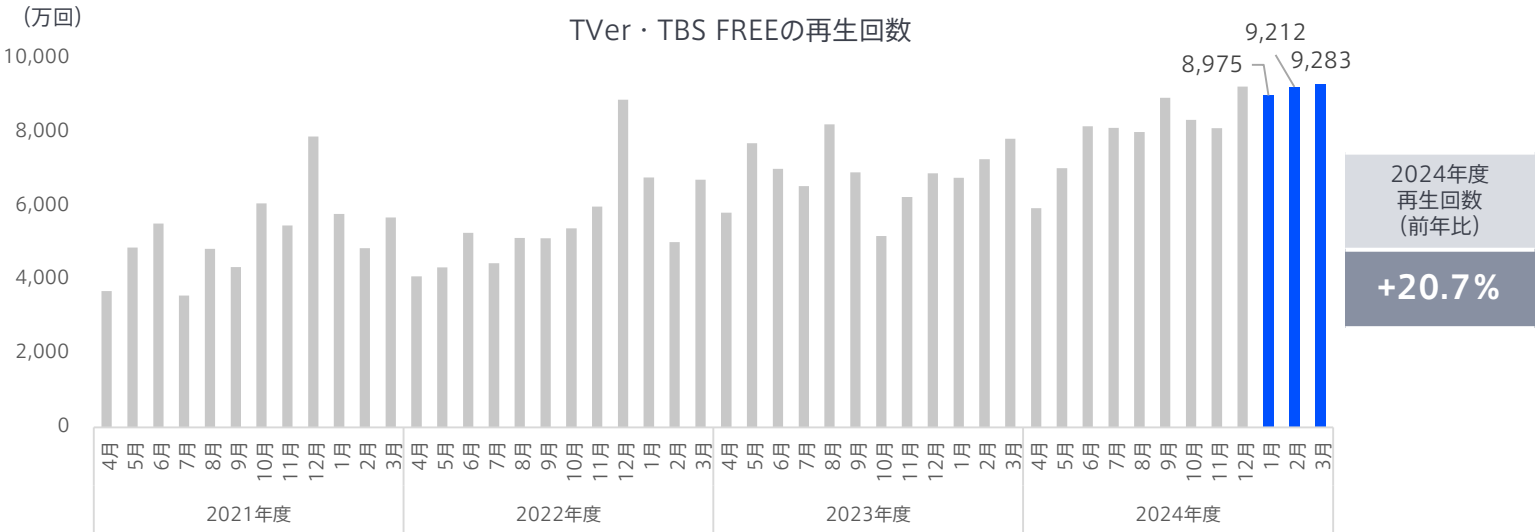
配信事業の状況

配信広告収入
有料配信収入
2025年度予想

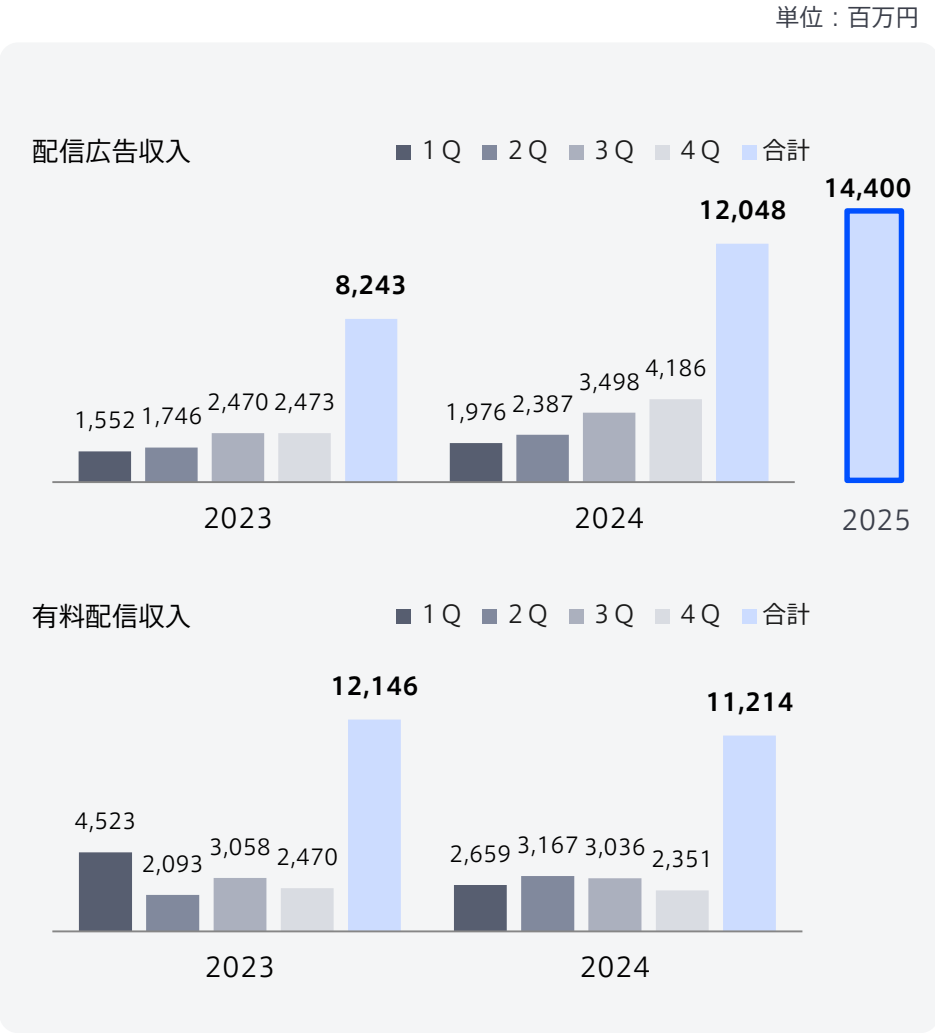
→ドラマ・バラエティの好調な再生回数を背景に、増収。
→配信作品の拡充などにより伸長しているものの、前年大きく売上に貢献した海外配信（「風雲！たけし城」や「離婚しようよ」など）の反動などにより、減収。
→TVerを中心に引き続き伸長を見込み、増収を予想。

	2023年度	2024年度	前年差	増減率	2025年度 予想
配信広告収入	8,243	12,048	+3,805	+46.2%	14,400
有料配信収入	12,146	11,214	▲931	▲7.7%	

単位:
百万円



※ 2023年3月末まではGYAO!を含む



TBSテレビ 事業部門収益

TBS

単位：百万円

部門	売上高			粗利益			主な増減要因
	2023年度	2024年度	前年差	2023年度	2024年度	前年差	
アニメ	1,071	1,768	+697	182	142	▲39	「五等分の花嫁」などの二次利用収入により増収も、地上波枠増加に伴い新作アニメの制作費が増加し、減益。
映画	3,219	3,792	+573	1,460	1,756	+295	「ラストマイル」や「グランメゾン・パリ」などの大ヒットにより、増収増益。
ライブエンタテインメント	8,729	8,117	▲612	1,075	305	▲769	「CDTV ライブ！ライブ！春の大感謝祭 2025」など番組派生イベントは好調も、舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の公演収入の一服に加え、2023年7月より展覧会事業をTBSグロウディアに移管した影響などにより、減収減益。
コンテンツビジネス	1,622	930	▲691	1,253	788	▲465	前年好調であったDVD販売の反動に加え、2023年7月より一部をTBSグロウディアに移管した影響により、減収減益。
グローバルビジネス	1,873	1,999	+126	996	907	▲88	2024年7月より、海外番販が移管された影響で増収も、新規フォーマット販売のための費用が増加したことなどにより、減益。
メディア事業・eスポーツ	2,406	-	▲2,406	602	-	▲602	2023年7月以降、テレビ部門に移管。
その他営業費用				▲1,659	▲1,586	+72	
部門計	18,923	16,609	▲2,314	3,911	2,313	▲1,597	事業部門全体では、減収減益。 「メディア事業・eスポーツ」移管の影響を除くと、増収を確保。

メディア・コンテンツセグメントの主なグループ会社状況

単位：百万円

	売上高				営業利益				主な増減要因
	2023年度	2024年度	前年差	2025年度 予想	2023年度	2024年度	前年差	2025年度 予想	
TBSラジオ	8,137	8,350	+212	8,360	78	173	+94	200	タイム収入が堅調に推移する中、イベント収入が増加し、増収増益。
BS-TBS	17,108	16,985	▲123	17,100	2,929	3,020	+91	3,100	スポット収入やショッピング収入が伸長したものの、タイム収入が減少し、減収。一方、番組制作費の減少により、増益。
TBSグロウディア	30,193	30,660	+466	32,900	1,213	1,339	+125	1,900	前年好調であったDVD収入の反動減を、ショッピング事業がカバーしたことなどにより、増収増益。
日音	9,271	9,191	▲80	10,600	910	850	▲59	1,000	邦楽・洋楽収入が減少し、減収減益。
TCエンタテインメント	9,373	5,890	▲3,482	7,000	615	176	▲438	500	前年好調であったDVD販売の反動減で、減収減益。

スタイリングライフグループ

雑貨小売販売事業は、化粧品や暑さ対策商材、キャラクター商材が大きく伸長したことで、期を通じて好調に推移し、増収。
ビューティ&ウェルネス事業は、主力の「サボリーノ」や、新規ブランドの「乾燥さん」が伸長したことなどにより、増収。
グループ全体では、ライトアップショッピングクラブの連結除外の影響で減収も、好調な雑貨小売販売事業やビューティ&ウェルネス事業の増収に伴い、増益。
また、営業利益は過去最高を更新。

※1 事業別の売上高は管理会計上の数値。

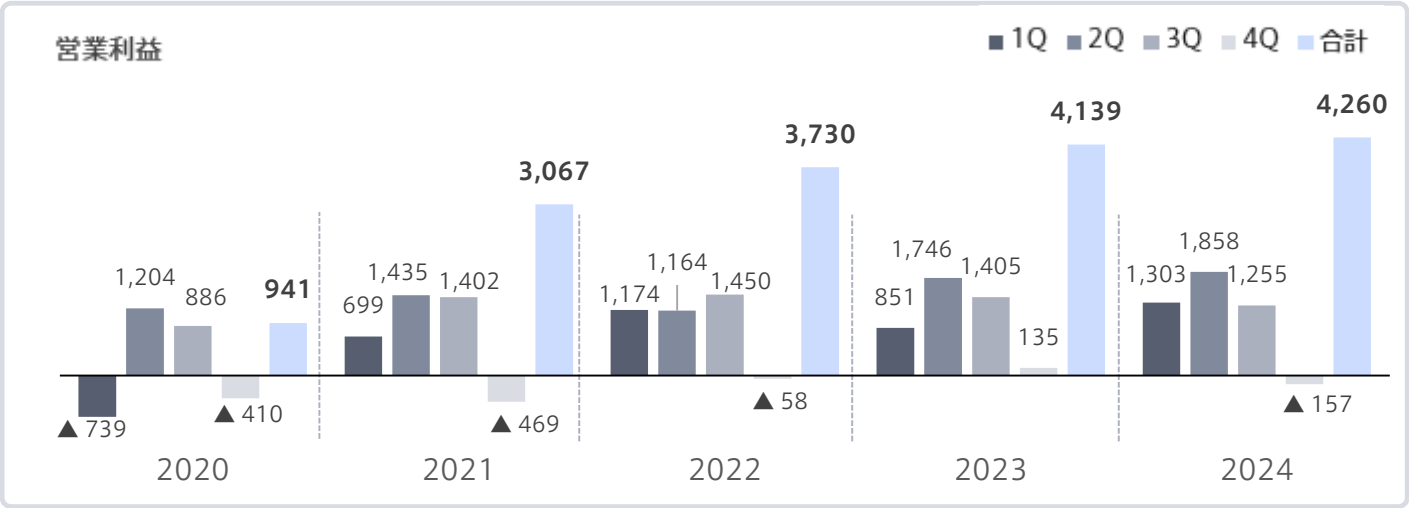
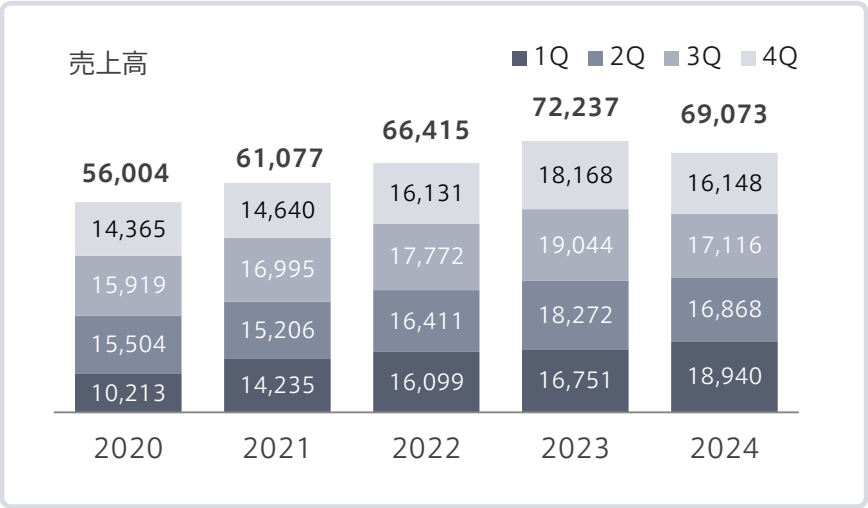
単位:
百万円

連結	2023年度	2024年度	前年差
売上高	72,237	69,073	▲3,163
営業利益	4,139	4,260	+120

単位:
百万円

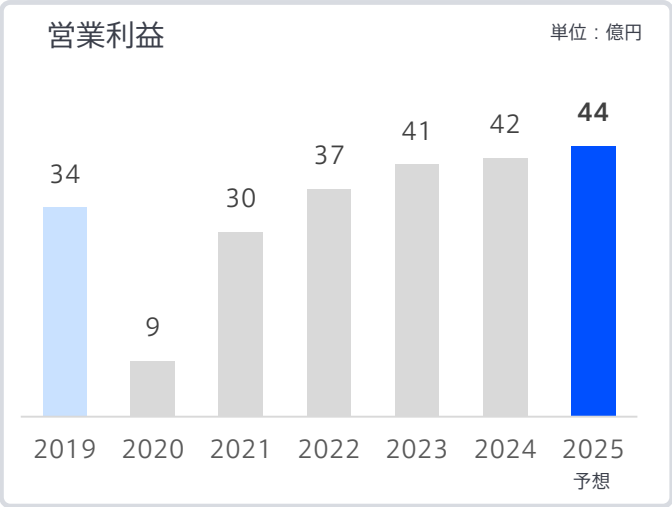
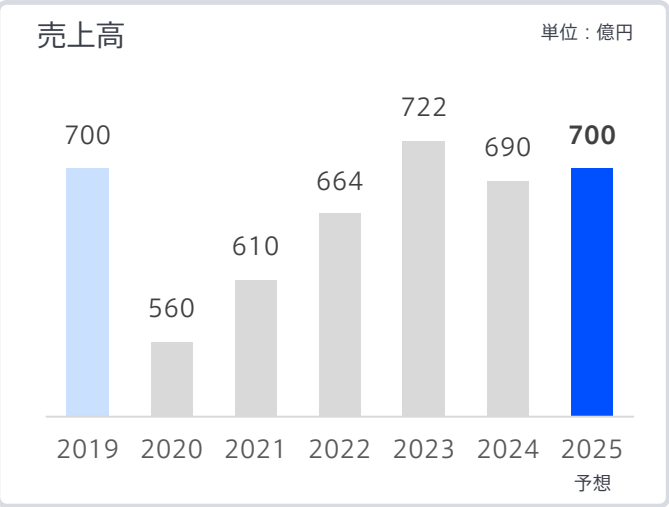
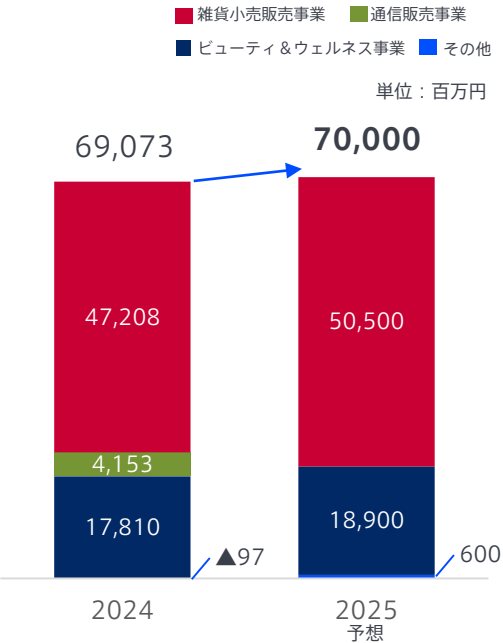
事業別	売上高※1		
	2023年度	2024年度	前年差
雑貨小売販売事業	41,741	47,208	+5,466
通信販売事業※2	15,723	4,153	▲11,570
ビューティ & ウェルネス事業	15,082	17,810	+2,727
本社およびその他	▲311	▲97	+213
計	72,237	69,073	▲3,163

※2 ライトアップショッピングクラブは、株式譲渡に伴い、第1四半期末において、連結範囲から除外。



スタイリングライフグループ 2025年度業績予想

連結	2024年度	2025年度 予想	前年差
売上高	69,073	70,000	+926
営業利益	4,260	4,400	+139



ライトアップショッピングクラブの連結除外影響（▲4,153百万円）はあるものの、既存事業の成長により増収を目指す。

雑貨小売販売事業

PLAZASTYLE 150店舗体制に向けて出店を加速させるほか、オリジナル商品開発・OMO戦略による体験価値の向上に取り組む。

ビューティ＆ウェルネス事業

BCL
Beauty Creative Life

CP
COSMETICS

「サボリーノ」「乾燥さん」などヒットブランドのさらなる成長に向けて新商品の開発に注力するほか、CPコスメティクスでは「ソワンクラージュ」シリーズなど新商品を投入。成長を図る。

新規事業

Cath Kidston
LONDON

英国発のライフスタイルブランド、キャスキッドソンが、2025年3月に表参道に旗艦店をオープンし、日本に再上陸。ブランドの象徴である「モダンヴィンテージ」デザインと、多数の日本限定アイテムを展開し成長を加速。

その他

KNT365

SEEDS ∞ MARKET

やる気スイッチグループ

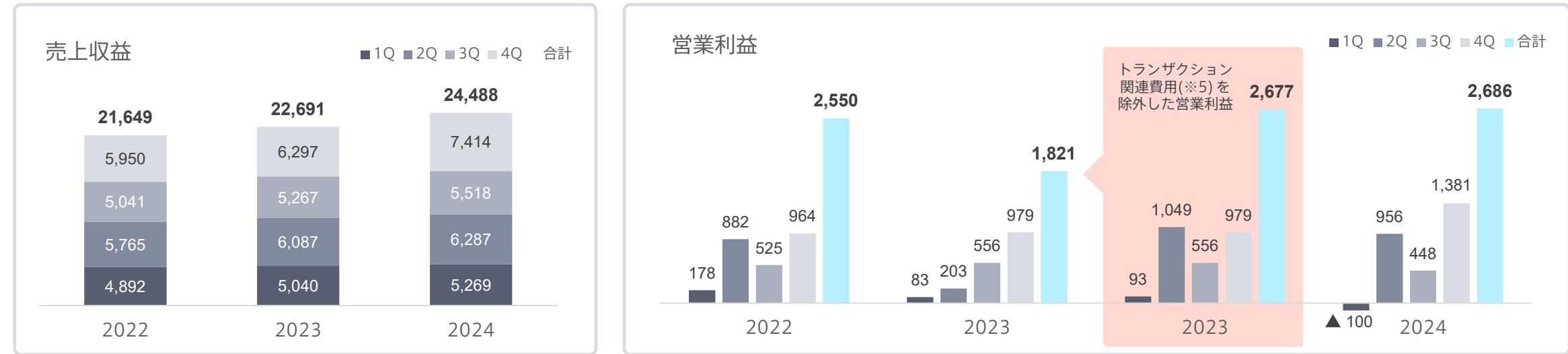
やる気スイッチグループは 国際会計基準（以下、IFRS）を適用しており、連結上ではIFRSを日本基準に組み替えた上で、24年3月～25年2月の12か月分を取り込んでいます。



個別指導塾事業および幼児教育他事業(※1)は、順調な教室数及び生徒数拡大とあわせ、積極的なフランチャイズ教室の直営化や2023年9月からの授業料などの値上げに加え、2024年12月から寺小屋グループを連結したことなどにより、両事業ともに増収。
また、2023年9月に実施した賃上げや、将来に向けたより高い収益性確保を目的とした不採算フランチャイズ教室の直営化に伴い、人件費などの費用が増加したが、2023年度に発生したTBSグループ入りに伴うトランザクション関連費用(※2)が今期は発生せず、更には直営教室売却による事業譲渡益増加などもあり、増益。
なお、当該トランザクション関連費用(※2)の影響を除外した場合でも営業利益で、増益。

連結	2023年度 (3-2月) ※3	2024年度 (3-2月)	前年差	単位： 百万円
売上収益	22,691	24,488	+1,797	
営業利益	1,821	2,686	+865	
(参考) 営業利益 トランザクション関連費用 ※2 除く	2,677		+9	

事業別	売上収益 ※4			単位： 百万円
	2023年度 (3-2月) ※3	2024年度 (3-2月)	前年差	
個別指導塾事業	11,226	11,607	+381	
幼児教育他事業 ※1	11,465	12,882	+1,416	
計	22,691	24,488	+1,797	



※1 従来「幼児教育事業」としていたものを、当連結会計年度より「幼児教育他事業」に変更。なお、本変更は名称のみの変更であり、当該事業における管理区分に変更はございません。
※2 やる気スイッチグループのTBSグループ入りに伴い発生した費用。
※3 やる気スイッチグループは2023年6月より連結の範囲に加わっております。
※4 事業別の売上収益は管理会計上の数値。
※5 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用 (IFRS) を指し、連結上では日本基準に組み替えて 一部を特別損失に計上しています。

やる気スイッチグループ 2025年度業績予想

連結	2024年度 (3-2月)	2025年度 (3-2月) 予想	前年差
売上収益	24,488	28,000	+3,512
営業利益	2,686	3,200	+514

単位:
百万円

やる気スイッチグループは 国際会計基準（以下、IFRS）を適用しております。

教室数および生徒数推移

教室数推移

2024年2月末時点
2,397 校 → 2025年2月末時点
2,478 校

生徒数推移

132,865 名 138,405 名 140,000 名以上

2024年
2月末時点 2025年
2月末時点 2026年
2月末予想

多様なコンテンツ展開を中心に、高品質な付加価値を創出
強固な事業基盤を確立し、**新たなステージ**へ

2025年度の主な取り組み

営業利益率

✓ 新規開校推進
✓ 入会者数向上

売上収益

- 生産性向上などによる既存教室の収益性改善
- 1教室あたりの生徒数増加
- 教室再生ビジネス※1を推進
- コンテンツ・サービス開発の推進
- M & A活用の検討
- グローバル展開の検討・推進
- JNN系列局のフランチャイジー化推進

※1 不採算フランチャイズ教室を直営化し、生産性向上などにより早期収益性改善を図り、再びフランチャイズオーナーへ教室売却するサイクルを指す

2024年度の振り返り



▲ テレビユー福島・チューリップテレビ・大分放送は
続々と忍者ナインブランドを開校

やる気スイッチグループ
×
寺小屋グループ

▲ 地方の学習塾をグループ化、四国地域での
教育サービスの拡充へ

2024年度 通期決算ハイライト

▶ 2025年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2026の進捗

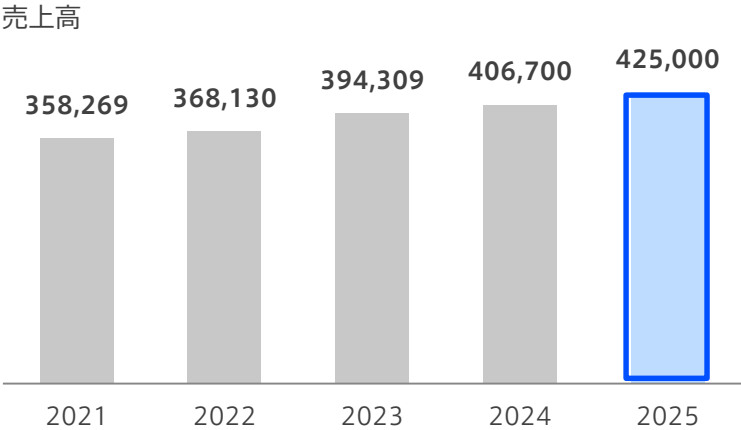
その他トピックス

参考資料

2025年度 連結業績予想

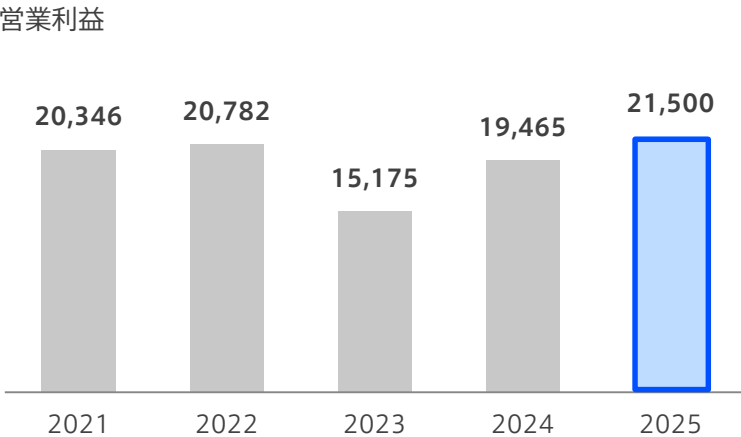
連結	2024年度実績	2025年度予想	前年差
売上高	406,700	425,000	+18,299
営業利益	19,465	21,500	+2,034
経常利益	31,604	34,500	+2,895
親会社株主に帰属する当期純利益	43,914	27,500	▲16,414

単位:
百万円



セグメント別	売上高			営業利益		
	2024年度実績	2025年度予想	前年差	2024年度実績	2025年度予想	前年差
メディア・コンテンツ	296,242	309,900	+13,657	8,490	11,100	+2,609
ライフスタイル	93,576	98,000	+4,423	3,505	4,200	+694
不動産・その他	16,881	17,100	+218	7,468	6,200	▲1,268
調整額	-	-	-	0	-	▲0
連結	406,700	425,000	+18,299	19,465	21,500	+2,034

単位:
百万円



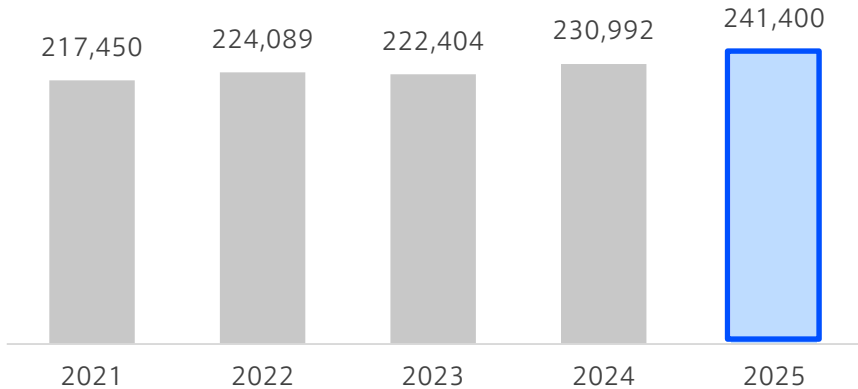
2025年度 TBSテレビ業績予想



TBSテレビ	2024年度実績	2025年度予想	前年差
売上高	230,992	241,400	+10,407
営業利益	8,996	10,500	+1,503
経常利益	11,750	12,800	+1,049
当期純利益	25,727	11,300	▲14,427

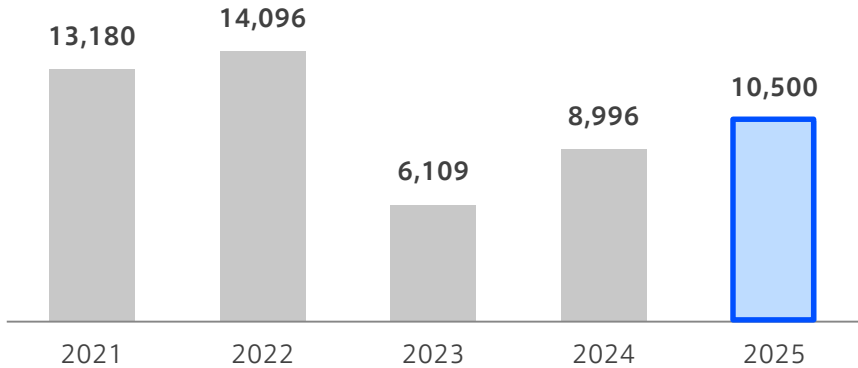
単位:
百万円

売上高



	2024年度実績	2025年度予想	前年差	増減率
タイム	81,264	86,900	+5,635	+6.9%
スポット	82,355	80,800	▲1,555	▲1.9%
配信広告収入	12,048	14,400	+2,351	+19.5%
番組原価	97,277	102,900	+5,622	+5.8%

営業利益



2024年度 通期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

▶ 株主還元

TBSグループ中期経営計画2026の進捗

その他トピックス

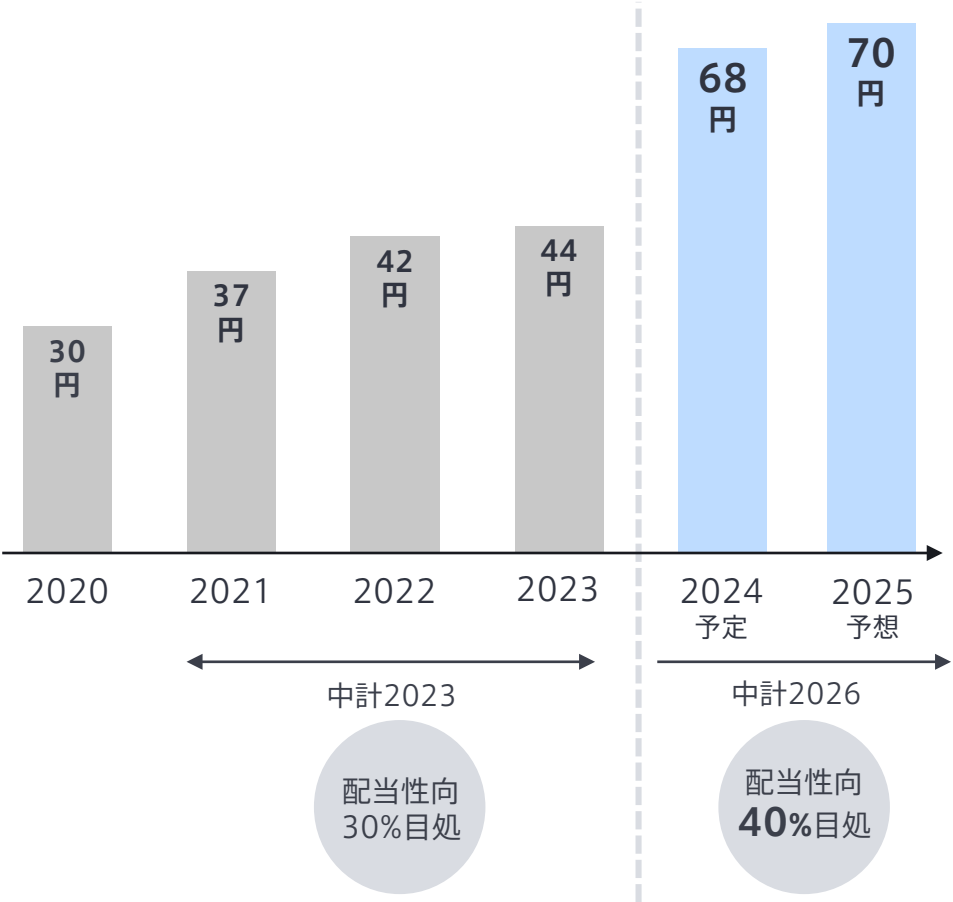
参考資料

配当方針と配当予想

基本方針 連結ベースの配当性向**40%**を目処として、安定的かつ継続的に配当を実施するとともに、**総還元性向**を意識したうえで、自己株式の取得も機動的に実施します。

	1株当たり配当金（円）			配当性向（％）	特殊な要因*の影響を除いた配当性向（％）
	中間	期末	年間		
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度	22	22	44	18.9	34.4
2024年度 （予定）	27	41	68	24.9	38.9
2025年度 （予想）	35	35	70	40.4	-

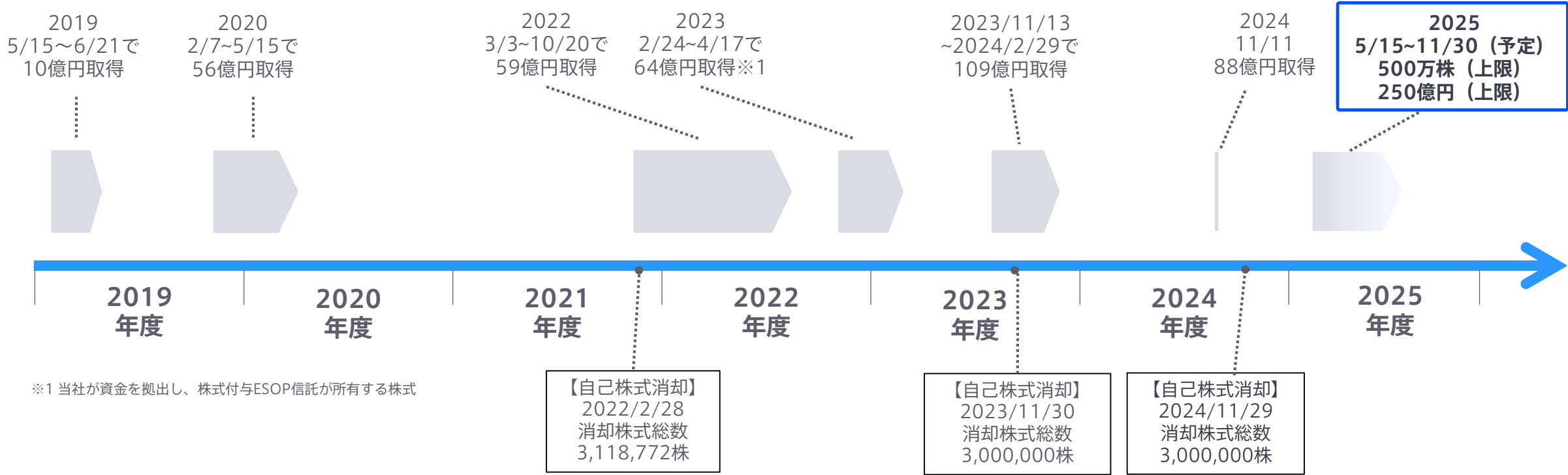
* 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付ける。



自己株式取得

自己株式の取得に関する決議内容（2025年5月14日公表分）	
取得対象株式	当社普通株式
取得株式の総数	5,000,000株（上限） 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.05%
取得価額の総額	25,000,000,000円（上限）
取得の方法	①東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け ②東京証券取引所における市場買付け
取得期間	2025年5月15日～2025年11月30日

※なお、投資機会や市場環境などにより、一部又は全部の取得が行われない可能性があります。



2024年度 通期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

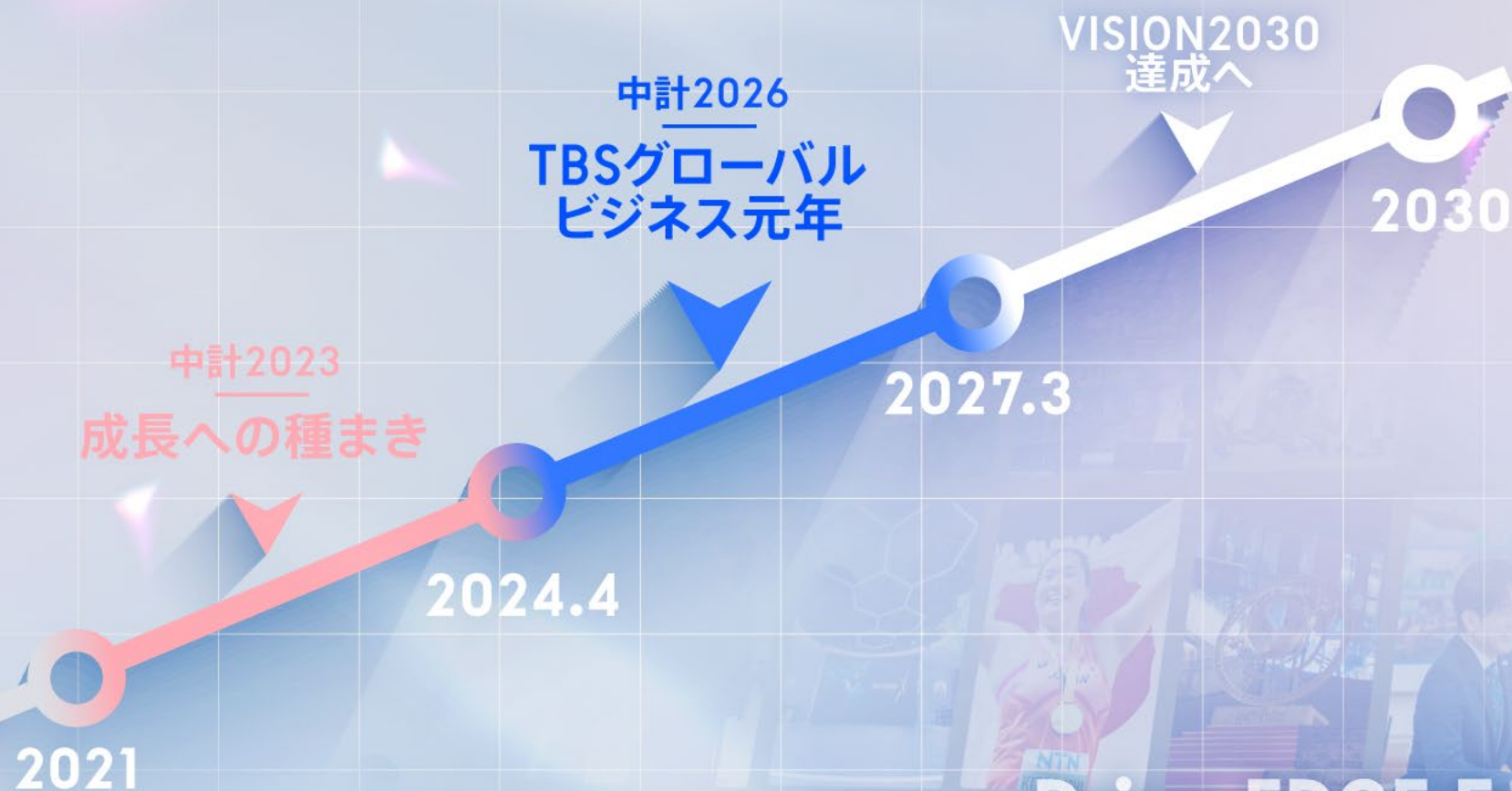
株主還元

▶ **TBSグループ中期経営計画2026の進捗**

その他トピックス

参考資料

中計2026の進捗状況



Drive EDGE Forward
Leveraging Creative Engine

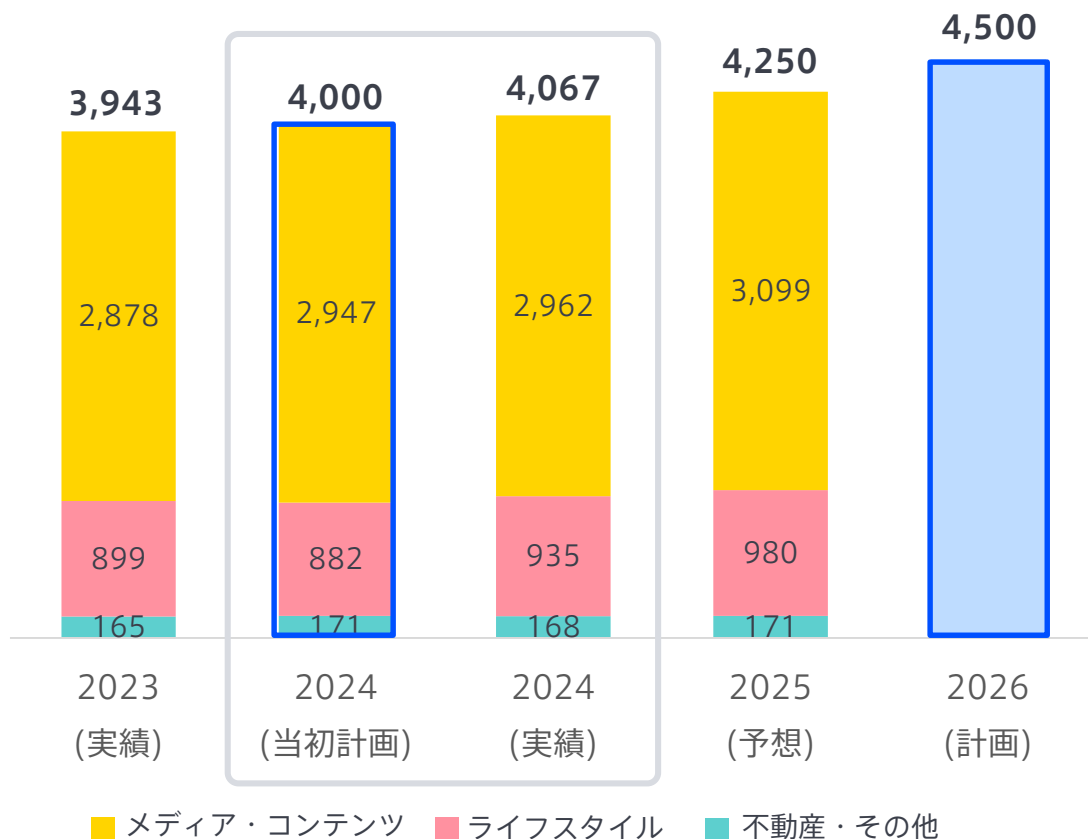
中計2026の進捗状況 ～ 定量目標 ～

売上高及び営業利益の達成状況

- 2024年度は前年度及び期初計画を上回り、**売上高4,067億円／営業利益194億円**を達成。
対前年度で売上高+123億円／営業利益+42億円、対期初計画で売上高+67億円／営業利益+29億円の実績。
- 2025年度も増収増益を予想しており、中計2026の計画達成に向けて計画通り進捗中。

連結売上高の推移

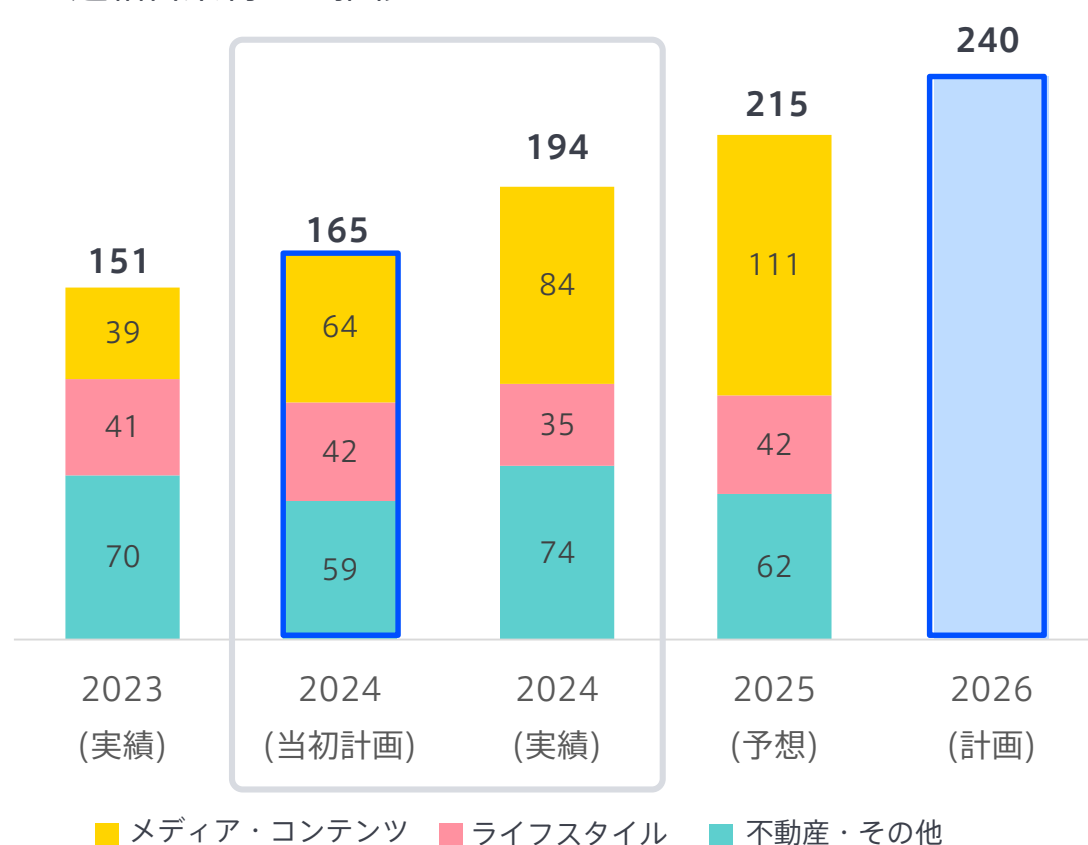
単位：億円



※2024年度グローバル関連売上比率2%強（2026年度グローバル関連売上5%目標）

連結営業利益の推移

単位：億円



中計2026の進捗状況 ～ 定量目標 ～

資本効率の向上を目指すKPIによる経営管理

- 中計2026より資本効率を意識した経営を推進するためにROICを指標として導入。
大型投資などの実施により、想定よりも投下資本が膨れているものの、概ね計画通りに進捗中。
- 次期中計からはセグメント別に資本効率の管理を実施すべく、現在セグメントの見直しを検討中。

	2023年度 (実績)	2024年度 (当初計画)	2024年度 (実績)	2025年度 (予想)	2026年度 (計画)	2030年度 (計画)
売上 [億円]	3,943	4,000	4,067	4,250	4,500	5,500
営業利益 [億円]	151	165	194	215	240	385
営業利益率	3.85%	4.13%	4.79%	5.06%	5.33%	7.00%
ROIC (税後営業利益)	2.6%	2.8%	3.1%	3.2%	3.3%	5.0%

中計2026の進捗状況 ～ 定量目標 ～

資本効率を意識したキャピタル・アロケーション

- キャッシュ・インについては、負債調達を活用や政策保有株式の売却を積極的に進めるとともに、グループ全体で営業キャッシュフローの拡大を図る。キャッシュ配分については、成長投資の確実な実施と、適切な株主還元を両輪で実施する。
- これらキャピタル・アロケーションを着実に推進することを通じて、引き続き、資本効率の改善に真摯に取り組む。

キャッシュ・イン

- 1 赤坂二・六丁目地区開発計画において合計**700億円の借入**を実施（2028年度の竣工に向けて、工事の進捗に合わせて段階的に調達。**中計2026期間中は189億円想定**）。今後もサステナビリティ・ファイナンスの活用を検討。
- 2 2024年度は**総額396億円規模の政策保有株式を売却**。2025年度も既に**135億円の売却を実施**。
株式売却により得られたキャッシュは、**成長投資及び株主還元のための原資**に活用。
- 3 成長投資で着実に成果をあげ、投資リターンによる
営業キャッシュ・フロー拡大の連鎖を創出

中計2026（計画）



キャッシュ配分

- 4 中計2026で掲げる**コンテンツIPの企画・開発力の強化に向け、300億円の投資枠**を持つ会社を設立し、IPを保有する会社を買収。海外事業拡大に向け、米国や韓国の戦略拠点を活用し、パートナーと共同制作・開発等を実施。さらに**EduTainmentの事業開発／拡大に向けても、積極的に投資を実施**。
計186億円の成長投資を実施／意思決定済み。
- 5 2024年度は、自己株式の取得と配当により、**総額169億円の株主還元**を実施。
2025年度、**一株当たりの配当額を2円増配の70円と予想**。また、**最大250億円の自己株式取得実施を公表**。
今後も引き続き、**総還元性向を意識し、自己株式取得等も機動的に実施**

※ 2024年度の配当は、2023年度期末配当及び
2024年度中間配当を計上

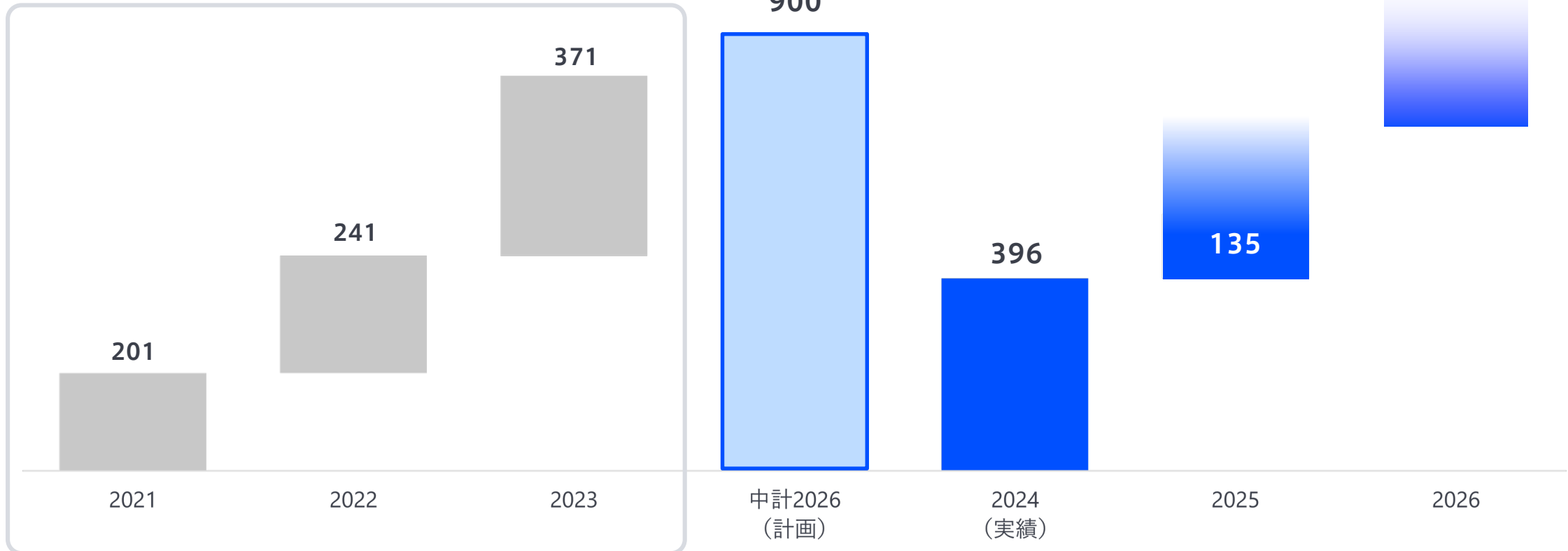
中計2026の進捗状況 ～ 定量目標 ～

政策保有株式の縮減

- 中計2026で900億円以上の政策保有株式売却目標に対して、2024年度は396億円の売却実績。
- 2025年度も既に135億円の売却を実施し、資本効率の改善に向けて、引き続き、政策保有株式の縮減に取り組む。

中計2023期間中は **814億円**分売却

単位：億円



中計2026の進捗状況 ～ 定量目標 ～

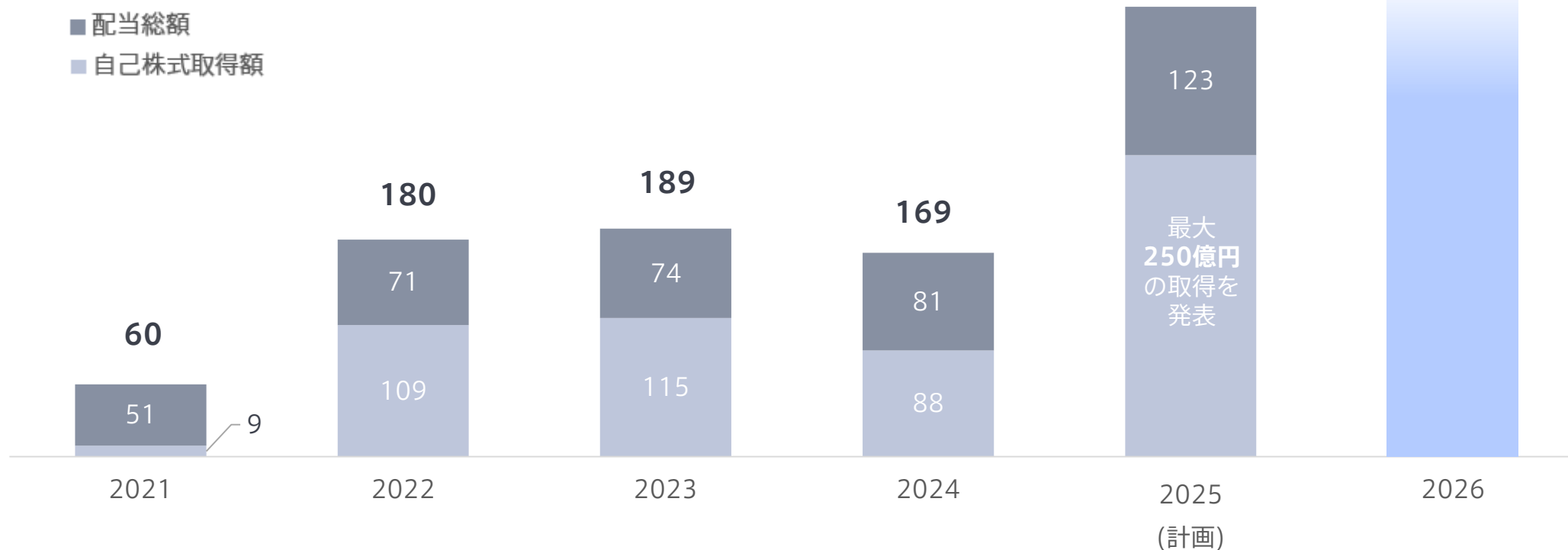
株主還元

- 中計2026で掲げた株主還元を着実に推進するため、総還元性向を意識した自己株式の取得と配当を両輪で推進中。
- **2025年度の一株当たり配当**は、2024年度の68円から2円増配の**70円**を予定。

キャッシュフローベースで430億円

キャッシュフローベースで600億円以上を計画

単位：億円



※ 当社が資金を拠出し、株式付与ESOP信託が所有する株式を含む

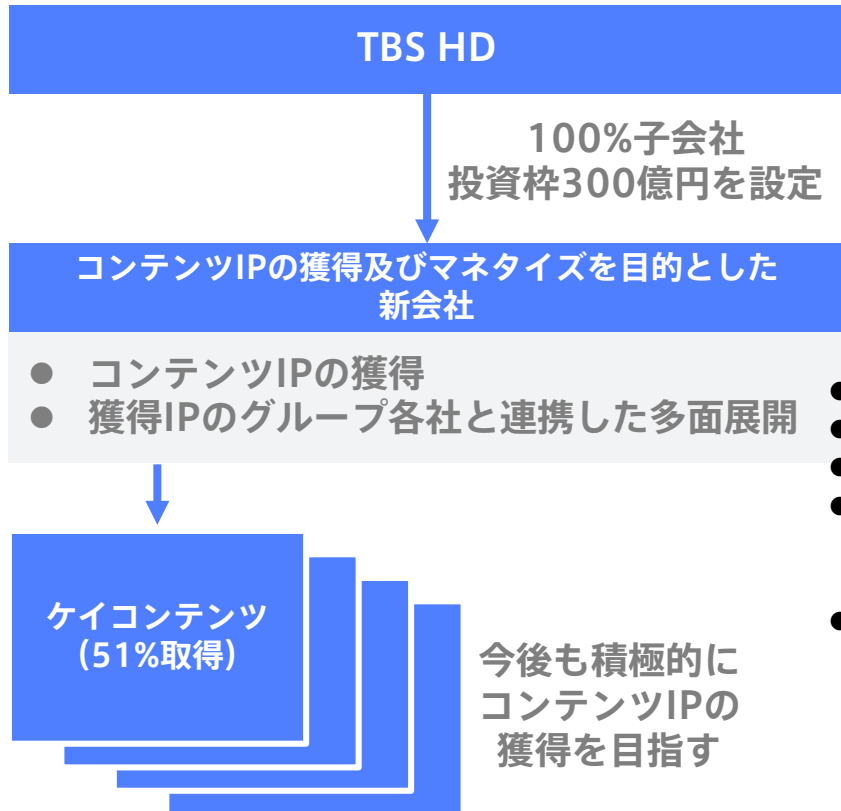
コンテンツIPに「レバレッジ」を掛け、EDGEの成長を加速



中計2026の進捗状況 ～ 重点トピックス ～

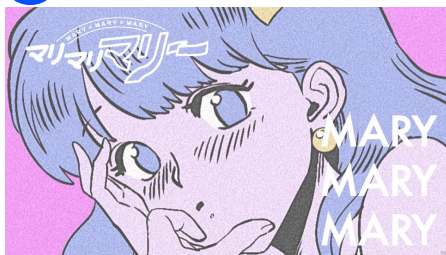
重点施策トピックス ① ～ コンテンツIPの強化に向けて ～

- 中計2026で掲げた**コンテンツIPに「レバレッジ」を掛け、EDGEの成長を加速**するために、コンテンツIPの獲得及びマネタイズを目的とした新会社を設立。
- 投資枠として300億円を設定し、第一弾として、Z世代向けIPであるマリマリマリー、ヒューマンバグ大学、トクサンTVなどを創出する、株式会社ケイコンテンツに出資を行い、子会社に。



株式会社ケイコンテンツが創出するコンテンツIP群

1 マリマリマリー



- アニメコンテンツ
- 登録者数**170万人**
- **Z世代男女**がメイン
- YouTube公式の2021年「国内急成長クリエイター」**▼舞台化も行う**
- 部門1位を獲得
- JR東日本、サントリー、花王、森永製菓、東芝など多数のナショナルクライアントとタイアップを展開



2 ヒューマンバグ大学



- アニメコンテンツ
- 登録者数**202万人**
- **20-30代の男女**がメイン
- 東京・大阪・名古屋にてコラボカフェを年間等して開催し、**累計50,000人が来場**
- YouTube動画に連動したグッズ販売も展開し、特にアクリルスタンドは、**販売後即売**の常連グッズ

▼舞台化も行う



3 トクサンTV



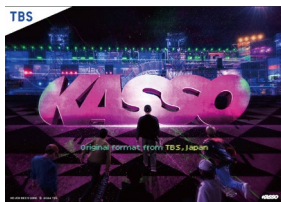
- プロ野球コンテンツ
- 登録者数**84万人**
- **20-30代男性**がメイン
- **ダルビッシュ有選手**や**新庄剛監督**を始め、多数の現役プロ野球選手が出演
- 実践型野球系YouTubeチャンネルとしては、**日本No.1の登録者数**
- 野球選手との密な関係性を構築しており、トクサンTVのインタビューのみ応じる選手も多数

中計2026の進捗状況 ～ 重点トピックス ～

重点施策トピックス ② ～ グローバルビジネス拡大に向けた取り組み ～

- ① Global Business Brand Purpose として「Inspiring Global Love for Japan through Timeless Moments」という高い志を掲げて、グローバルビジネスを着々と拡大中。
- ② 北米関連ビジネスでは、Endemol Shine Australia社と「KASSO」のパートナーシップ契約締結。
Fulwell Entertainment社とTBS IPベースに「百武将-HUNDRED SAMURAI-」を共同開発。
- ③ 韓国関連ビジネスでは、CJ ENM社と初のバラエティフォーマット「MUGEN LOOP」を共同開発しTBSでオンエア。
STUDIO Dragon社と2025年7月火曜ドラマ「初恋DOGS」をドラマ共同制作第一弾として制作し、U-NEXTそしてU-NEXTを通じてMaxにて海外配信。
Somethings Special社とはペーパーフォーマットを開発し販売を開始。

北米関連ビジネス



- TBSテレビが手掛けるストリート系超大型フィジカル番組「KASSO」において、仏Banijayグループ・Endemol Shine Australia社との北米を含む英語圏におけるパートナーシップ契約締結

Global Business Brand Purpose



Inspiring
Global Love
for Japan
through
Timeless
Moments



- 著名NBA選手レブロン・ジェームズ氏が関わるFulwell Entertainment社とTBSの「体育会TV」内企画「100秒チャレンジ」をベースにスポーツ番組フォーマットを共同開発
- バスケットボールをテーマにした番組・FMTを開発して北米他でセールス開始

韓国関連ビジネス



- 全世界へのフォーマット販売を視野に入れた、サバイバルマネー番組「MUGEN LOOP」をCJ ENMグループのTVN制作チームと共同開発
25年3月にTBSで放送後、セールスを開始



- KOCCAの支援を受けて、ダンス×恋愛リアリティをテーマとしたペーパーフォーマット「In Body Language」を韓国Something Special社と共同開発し世界へセールス開始



- CJ ENMとの戦略的パートナーシップの下、STUDIO DRAGONと「初恋DOGS」を共同制作。7月火曜枠でOA予定
- TBSが韓国に設立したStudio ToonN社のウェブトゥーン「DOGHAN 로맨스」を原案としたドラマシリーズ
- U-NEXTそしてU-NEXTを通じてMaxにて海外配信。



中計2026の進捗状況 ～ 重点トピックス ～

重点施策トピックス ② ～ グローバルビジネスの中核を担うTHE SEVENの取り組み ～

- 2024年度は新スタジオとしての足場固めに注力。制作協力したNetflixシリーズ「幽☆遊☆白書」がAACA＝アジアン・アカデミー・クリエイティブ・アワードで視覚効果賞グランプリを受賞。
- 2025年度は自社コンテンツ数作品の撮影を一気に実施。脚本・キャスト・スタッフにこだわったことから2025年度中の完成納品は間に合わず、目標として掲げていた「2025年度に売上100億円」は次年度へ持ち越し。
- 2026年度に数作品の完成納品を予定、100億円を超える売上を見込む。

2024年度

AACA＝アジアン・アカデミー・クリエイティブ・アワード
Netflixシリーズ「幽☆遊☆白書」（THE SEVEN制作協力）が
視覚効果賞グランプリ



「幽☆遊☆白書」は日本・タイ・フィリピンなど
11か国で視聴時間weekly1位獲得
配信初週（2023年12月）世界ランキング2位

2025年度

Netflixシリーズ
「今際の国のアリス」Season3
9月 Netflix配信



Season2は日本・アメリカ・フランスなど
9か国で視聴時間weekly1位獲得
90以上の国と地域でTop10入り

映画「愚か者の身分」
10月 劇場公開



THE SEVENは製作委員会幹事・配給を担当
映画の企画・制作から配給・二次利用まで
一貫して手がけることにトライ

Netflixシリーズ
「国民クイズ」
2025年1月より撮影中



伝説的カルトコミックを
山田孝之主演で完全映像化
THE SEVENとして初の配信向け元請作品

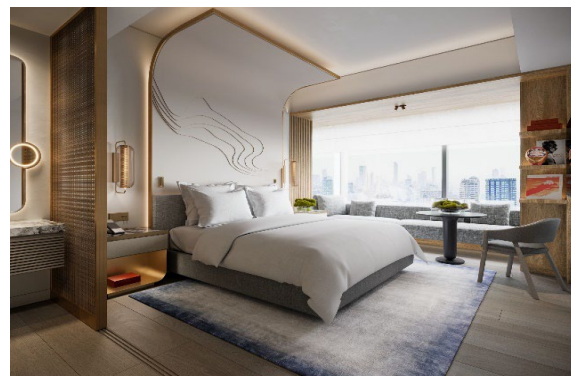
中計2026の進捗状況 ～ 重点トピックス ～

重点施策トピックス ③ ～ 赤坂エンタテインメント・シティの進捗 ～

- 2028年度の竣工に向けて、現時点、開発工事は概ね順調に進捗中。
- 当該区画に、この度、世界13の国と地域で40軒以上展開している**ヒルトンのライフスタイルブランド・ホテル「キャノピー by ヒルトン東京赤坂」の関東初進出が正式に決定**（国内3軒目）。地元の魅力を最大限に活かした体験、洗練されたデザイン、お客様の嗜好に合わせた食事や飲み物などを通じて、ワンランク上の快適な滞在をお届け。
- 同ホテルが入居するビルは東京メトロ千代田線「赤坂駅」に直結し、下層階には劇場やホールの整備も予定しており、これらとも連動することにより、駅を起点に、赤坂の街全体を重層的なエンタテインメント発信拠点化を推進。



ホテル外観（イメージ）



ホテル客室（イメージ）



レストラン&バー（イメージ）

※ビジネス街および都内各地の観光名所へのアクセスにも便利な立地にあり、空港からのリムジンバスの発着も予定。

中計2026の進捗状況 ～ 重点トピックス ～

重点施策トピックス ④ ～ TBS EduTainment スタート！ ～

- 教育（Education）× エンタテインメント（Entertainment）を融合させたTBSにしかできないEduTainment事業を開始。
- 「人生100年 × VUCA」時代に、年代を問わず、**全ての人々が自ら進んで、楽しく学びたくなる「探究型の知育・教育サービス（EduTainment）」**を創出し、笑顔溢れる日本の未来を共創する。
- **EduTainmentの事業開発、及び、出資／ポートフォリオ管理を担う事業責任者に元NHKエデュケーショナル代表取締役社長の熊埜御堂朋子氏を招聘し、さらに専門部署を設置し、積極投資で事業拡大を推進。**



2030年度までに
400億円規模の売上を目指す



ESG戦略の推進 ① ～ 買収提案への対応方針及び外国人等に対する配当方針の変更 ～

- 「当社株式にかかる買収提案への対応方針」の**有効期間を従来の3年間から1年間に短縮**。
ステークホルダーの皆さまとの対話や社内外の経営環境等を踏まえ、本プランが不要との判断に至った場合にはすみやかに対応することを念頭に議論を継続。
- 放送法により株主名簿への記載等を制限された**外国人等株式（20%以上保有分）に対する配当支払方針を決定**。
第98期定時株主総会において定款変更議案が承認可決された場合、2025年9月30日を基準日とする中間配当より対象株式への配当支払が可能に。

中計2026の進捗状況 ～ ESG戦略の推進 ～

ESG戦略の推進 ② ～ 人的資本経営のさらなる推進 ～

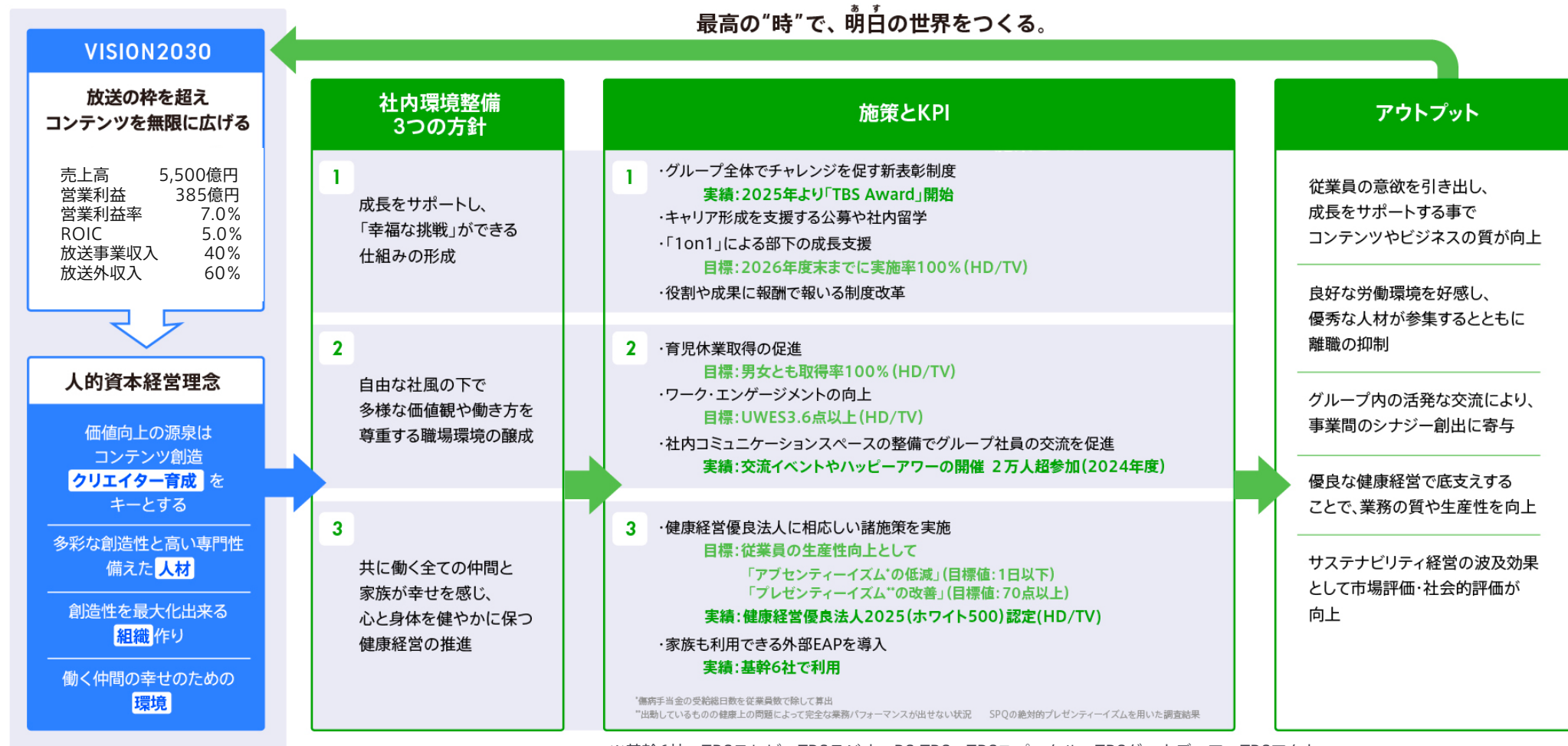
- 中計2026で掲げた「創る」と「拡げる」の両利き人材を育成するため、各種学びの場を提供するとともにグループ内の人材交流を積極的に実施中。
- ダイバーシティを推進し、多様な人材の活躍を促す一環として、女性管理職の登用を積極的に推進中。



中計2026の進捗状況 ～ ESG戦略の推進 ～

ESG戦略の推進 ② ～ 人的資本経営のさらなる推進 ～

- 成長をサポートし、「幸福な挑戦」ができる仕組みの形成や、自由な社風の下で多様な価値観や働き方を尊重する職場環境の醸成等に向けて、各種施策を推進中。
- 従業員の健康管理を重要な経営課題として位置付け、安全で働きがいがあり創造性を発揮できる職場づくりを目指し、様々な施策を実施中。こうした取り組みが評価され民放キー局の中で唯一、かつ2年連続、健康経営優良法人（大規模法人部門）～ホワイト500～に認定。



※基幹6社：TBSテレビ、TBSラジオ、BS-TBS、TBSスパークル、TBSグロウディア、TBSアクト

中計2026の進捗状況 ～ ESG戦略の推進 ～

ESG戦略の推進 ③ ～より多くの人々がクリエイティブなコンテンツに触れる環境の整備～

「最高の“時”で、明日の世界をつくる。」というブランドプロミスを実現するため、財団を設立し、以下のような活動を支援。

- 体験格差の是正を含む、より多くの人々がクリエイティブなコンテンツに触れる環境を整備。
- 赤坂がクリエイティブの集積・発信拠点となり、世界中の人々にとって魅力あふれる「AKASAKA」へと進化するための活動。



一般財団法人 赤坂クリエイティブ財団

活動概要：

- ① クリエイティブ人材・産業の育成への直接的な支援
 - ・ クリエイティブ体験格差の是正のための助成事業
 - ・ クリエイター育成のための奨学金事業・コンテスト等の実施
- ② 赤坂をクリエイティブの集積・発信拠点とするための支援
 - ・ 伝統的な文化を含む、多様なクリエイティブの維持・発信のための支援
 - ・ インバウンド需要創出にも資するイベント実施等
 - ・ クリエイティブ企業誘致の取り組み

2024年度 通期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

TBSグループ中期経営計画2026の進捗

▶その他トピックス

参考資料

LTV4-59① 広告収入の拡大

単位：百万円
(※ [] 内は1段目が前年差、2段目が前年比)

TBSテレビ	2023年度	2024年度	2025年度 予想
放送収入	159,367 [▲3,517] [▲2.2%]	163,620 [+4,252] [+2.7%]	167,700 [+4,079] [+2.5%]
タイム	81,590 [+1,674] [+2.1%]	81,264 [▲325] [▲0.4%]	86,900 [+5,635] [+6.9%]
スポット	77,777 [▲5,191] [▲6.3%]	82,355 [+4,578] [+5.9%]	80,800 [▲1,555] [▲1.9%]
配信広告収入	8,243 [+2,575] [+45.4%]	12,048 [+3,805] [+46.2%]	14,400 [+2,351] [+19.5%]

2024年（1月～12月）の広告費

地上波テレビ 前年比 +1.6%

テレビメディアデジタル 前年比 +46.3%

※出典：「2024年 日本の広告費」

2025年度 編成予定大型単発

(毎年度編成するものを除く)

1 Q	
2 Q	「バレーボールネーションズリーグ2025」 「バレーボール世界選手権2025」 「東京2025世界陸上」
3 Q	
4 Q	「ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック」 「大型スポーツ単発」 (仮)

2025年5月14日現在

LTV4-59② コンテンツの拡張（タイムレスバリュー）

TBS

LTV4-59

2024年度 視聴率

(単位:%)

全 日

ゴールデン

プライム

T B S	1.8 [0.0]	3.6 [+0.1]	3.5 [+0.1]
P U T	10.6 [▲0.5]	19.6 [▲0.8]	18.6 [▲0.9]

(※ [] 内は前年差)

2024年度 LTV4-59好調番組

(単位:%)

マツコの知らない世界	5.0
バナナマンのせっかくグルメ！！	4.9
バナナサンド	4.6
日曜劇場（4ドラマ平均）	4.6
情報7daysニュースキャスター	4.3
それSnow Manにやらせて下さい	4.1
坂上&指原のつぶれない店	3.8
ジョブチューン～アノ職業のヒミツぶっちゃけます！	3.8
C D T V ライブ！ライブ！	3.6
水曜日のダウンタウン	3.6
いくらかわかる金？	3.6

(2024/4/1～2025/3/30：週ベース)
(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

TVer



三冠を達成！

総再生回数 約9億8,000万回
U B数 約5,300万UB
総再生時間 約4億7,800万時間

ドラマに加え、バラエティも好調

水曜日のダウンタウン

ラヴィット！



9,200万回再生
(24年度)

3,400万回再生
(24年度)

有料配信

国内配信

海外配信

U-NEXT 課金ユーザー数 466万人

NETFLIX



地上波ドラマや映画と
連動したオリジナル
コンテンツの制作を強化



毎クール
ドラマを
海外配信

映画

2024年度

2025年度

「ラストマイル」
興行収入59億円超

「グランメゾン・パリ」
興行収入41億円超

劇場版「TOKYO MER
～走る緊急救命室～南海ミッション」



など

イベント

収益性の高い
番組派生イベント
を引き続き実施

ラヴィット！ロック 2024

C D T V ライブ！ライブ！
春の大感謝祭2025



など

IP戦略①

TBS

TBSグループとしてオリジナルIPの開発・拡張戦略の三本柱として位置付けた「ブランド事業」「ヒトIP事業」「ゲーム事業」。

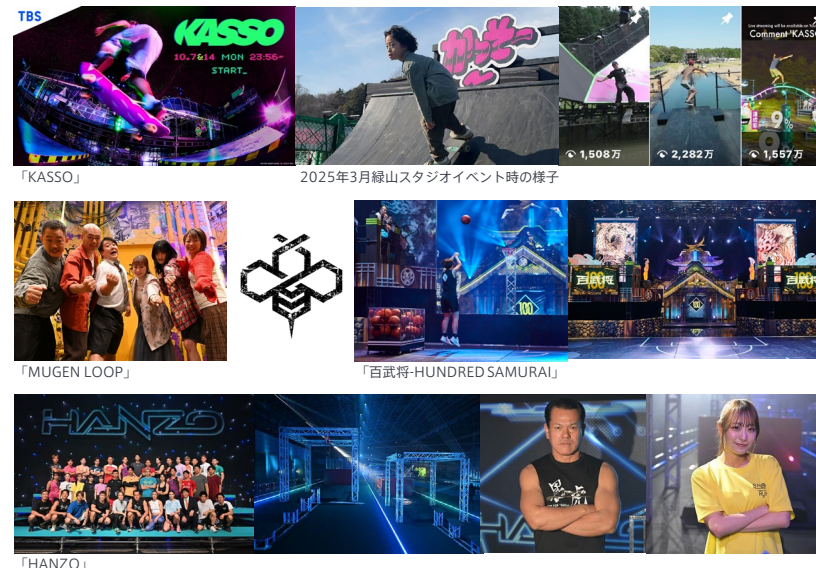
ブランド事業

① オリジナルIP創出 x フォーマット販売

「スケボー版SASUKE」として開発したオリジナルブランド「KASSO」。Instagramの公式アカウントでは再生回数2,000万回を超えるものもあり、北米、欧州、ポルトガル語圏などグローバルで若者を中心に高い人気を獲得。フォーマット販売と並び、欧米およびアジアでイベント化・グッズ販売を検討中。

海外でのフォーマット販売を目的とした新規オリジナルIPを続々開発。それぞれ国内で地上波放送を実施した実績を持って海外に展開する。

- ・「MUGEN LOOP」
韓国のエンタテインメント企業CJ ENMとの初の共同制作バラエティ番組。
- ・「百武将-HUNDRED SAMURAI-」
グローバルエンタテインメント企業Fulwell Entertainmentとの初の共同開発プロジェクトから誕生。
- ・「HANZO」
オリンピック競技にも採用されている近代五種をモチーフとした新たなゲームショーで、イベント、パーク展開を含め、欧米でのフォーマット販売を狙う。



② TBSテレビ x The Pinkfong Company (ピンクフォンカンパニー)

TBSグループが注力する「エデュテインメント」事業の一環として、世界市場をターゲットに、未就学児が楽しく学べる新たなコンテンツの開発を共同で推進。

ピンクフォンカンパニーはグローバルファミリーエンタテインメント企業として幼児・子供向けコンテンツを多数プロデュース。代表的コンテンツ「Baby Shark」はYouTubeで158億回以上の再生数を誇る。続いて公開された「ベベフィン」も、世界11か国でNetflix1位、25か国でTOP10入りし、YouTubeチャンネル登録者数は5,000万人を突破。

TBSグループは「ベベフィン」等の国内での更なる認知、事業の拡大に向け配信、イベント等で協業すると共に、新たなオリジナルIPも創出していく予定。



「ベベフィン」YouTube公式アカウント



2025年4月TBS開催
「AKASAKAあそび！学び！フェスタ」出展時の様子

ヒトIP事業

①ボーイズグループオーディションプロジェクト「THE LAST PIECE」



- ・「BE:FIRST」「MAZZEL」らが所属する、SKY-HI率いるBMSGとTBSがタッグを組んだ新企画。アーティストデビューを目指す10代の青春xオーディションプロジェクト「THE LAST PIECE」を展開。
- ・世界で活躍できる新たな才能を結集したボーイズグループが生まれるその様子、その瞬間を、2025年6月末より「THE TIME,」など、TBSの番組内で放送・配信。
- ・夢を持つことの大切さを、すべての10代と、かつて10代だったすべての人へ届けるプロジェクト。

②「Hi-Fi Un!corn」



© FNC ENTERTAINMENT JAPAN INC.



「THE LAST PIECE」公式HP



TBS x BMSG告知

- ・2023年6月に世界デビューを果たした「Hi-Fi Un!corn」。
- ・2024年8月にリリースしたファーストアルバム「FANTASIA」はオリコンウィークリーチャート10位にランクイン。
- ・2025年4月には、メジャー・デビュー1作目となる「Beat it Beat it」をリリースし、オリコンウィークリー シングルチャートで3位にランクインした。アジアツアーも予定されている。

ゲーム事業

TBSテレビとスクウェア・エニックスが
完全新規オリジナルIPのゲーム開発における協業を発表



- ・TBSとスクウェア・エニックスは、それぞれの分野で培ってきた経験と強みを結集し、**完全新規オリジナルIPのゲーム開発**における協業を推進。
- ・スクウェア・エニックスは、「ファイナルファンタジー」や「ドラゴンクエスト」をはじめとする世界的な大ヒット作など、数々の名作を世に提供しているゲーム業界のリーディングカンパニー。
- ・本ゲームによって、世界中のゲームプレイヤーに最高の“時”を提供することを目指す。

アニメ事業①

人員増強により、幹事作品数を安定的に維持・拡大。海外展開などの収益化を主体的に狙う。

TBS * 幹 はTBSテレビ幹事作品



「ウマ娘 シンデラグレイ」
日曜 ごご4:30～
(4月クール)
©久住太陽・杉浦理史&Pita・伊藤隼之介/集英社・ウマ娘 シンデラグレイ製作委員会
©Cygames, Inc.



幹 「ロックは淑女の嗜みでして」
木曜 よる11:56～
(4月クール)
©福田宏・白泉社/「ロックは淑女の嗜みでして」製作委員会



幹 「地縛少年花子くん2」
木曜 深夜1:28～
(4月クール・再放送)
※25年1月期の第1話～第12話の再放送
©あいだいろ/SQUARE ENIX・「地縛少年花子くん2」製作委員会



幹 「地縛少年花子くん2」 続編
日曜 ごご4:30～
(7月クール)
©あいだいろ/SQUARE ENIX・「地縛少年花子くん2」製作委員会



「神椿市建設中。」
木曜 よる11:56～
(7月クール)
©KAMITSUBAKI STUDIO/SINKA ANIMATION PROJECT



幹 「水属性の魔法使い」
木曜 深夜1:28～
(7月クール)
©久宝忠・TOボックス/水属性の魔法使い製作委員会

MBS



「ウィッチウォッチ」
日曜 ごご5:00～
(4月・7月クール)
©種原健太/集英社・ウィッチウォッチ製作委員会・MBS



「WIND BREAKER Season2」
木曜 深夜0:26～
(4月クール)
©にいとる・講談社/WIND BREAKER Project



「ダンダダン」 Season2
木曜 深夜0:26～
(7月クール)
©龍幸伸/集英社・ダンダダン製作委員会

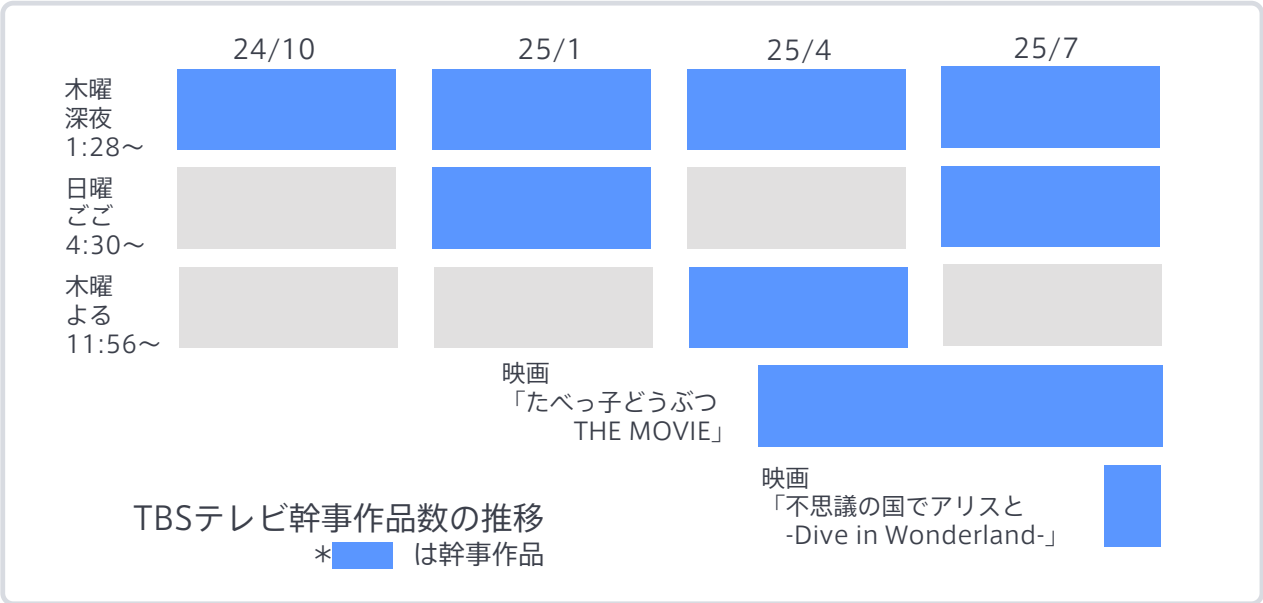
CBC



「戦隊大失格」 2nd season
日曜 よる11:30～
(4月クール)
©春場ねぎ・講談社/「戦隊大失格」製作委員会



「ガチアクタ」
日曜 よる11:30～
(7月クール)
©裏那圭・晏堂秀吉・講談社/「ガチアクタ」製作委員会



アニメ事業②

TBS

「たべっ子どうぶつ THE MOVIE」、「不思議の国でアリスと -Dive in Wonderland-」、「ひゃくえむ。」など、劇場用アニメを意欲的に展開。商品化で収益化も見込む。



©ギンビス ©劇場版「たべっ子どうぶつ」製作委員会

映画
「たべっ子どうぶつ
THE MOVIE」
2025年5月1日公開

TBSテレビ幹事の劇場用アニメ作品。
お菓子の人気キャラクターを
3Dアニメ化。



©「不思議の国でアリスと」製作委員会

映画
「不思議の国でアリスと
-Dive in Wonderland-」
2025年8月29日公開

TBSホールディングスと松竹株式
会社が2024年1月に資本業務提携
に合意後、**初の共同幹事作品**。
ルイス・キャロルの名作「不思議
の国のアリス」を日本で初めて劇
場アニメーション化。

制作：P.A.WORKS
脚本：柿原優子（「うる星やつら」、
「アオのハコ」など）



©魚豊・講談社／『ひゃくえむ。』製作委員会

映画
「ひゃくえむ。」
2025年9月19日公開

「子。一地球の運動について」で、手
塚治虫文化賞マンガ大賞を最年少で受賞し
た**魚豊**の原点とも言える、陸上競技の情
熱を描いた漫画をアニメ映画化。
陸上選手のモーションキャプチャーを
用いる等、**東京2025世界陸上**とも
絡めて展開。

監督：岩井澤健治
声の出演：松坂桃李（トガシ）
染谷翔太（小宮）

キャラクタービジネス

世界28の国と地域に根強いファンを持つお菓子「たべっ子
どうぶつ」の映画化により、興行収入と同時に商品化によ
る収入も見込まれる。
各社とのコラボ展開も進行中。



エプソン販売株式会社
たべっ子どうぶつ THE MOVIE
推し活PRINT PARK by エプソン

Xで高い人気を誇るクリエイター、
しりもとによる「んめねこ」のシ
ョートアニメ化でもキャラクター
ビジネスによる収益獲得を狙う。

「んめねこ」
木曜 深夜1:58～
(4月クール～)

Xのフォロワー数25万人のクリエイターしりもとの
人気作品をアニメ化。1年間継続して放送中。



©しりもと/HUNET・「んめねこ」製作委員会

トピックス



©タイザン5/集英社・
「タコピーの原罪」製作委員会

「タコピーの原罪」

2021年に「少年ジャ
ンプ+」で連載開始、
SNSで話題に。
2巻完結ながら発行部
数140万部突破の衝撃
作をアニメ化。

映画・興行・催事 今後の主なラインナップ

2025年5月14日 現在

	期間	タイトル	備考
映画	2025/5/30公開	「か」「く」「し」「ご」と「」	配給：松竹
	2025/6/20公開	「君がトクベツ」	配給：ギャガ
	2025/8/1公開	劇場版「TOKYO MER ~走る緊急救命室~南海ミッション」	配給：東宝
	2025/8/29公開	「不思議の国でアリスと -Dive in Wonderland-」	配給：松竹
	2025/9/19公開	「ひゃくえむ。」	配給：ポニーキャニオン、アスミック・エース
	2025/10/24公開	「愚か者の身分」	配給：THE SEVEN、ショウゲート
	2025 冬 公開	「映画ラストマン」	配給：松竹
興行	2022/7/8~ロングラン	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2025/5/10~5/11 5/23~6/1	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Spring Tour 2025 「白鳥の湖」	東京文化会館大ホール Bunkamuraオーチャードホール
	2025/6/20~6/29	FANTASY MUSICAL 「バースデー」	品川プリンスホテル ステラボール
	2025/7/25~7/27	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Summer 2025 「K-BALLET TOKYO 25th ANNIVERSARY GALA」	Bunkamuraオーチャードホール
	2025/8/5~8/27	舞台「WAR BRIDEーアメリカと日本の架け橋 桂子・ハーンー」	よみうり大手町ホール
催事	2025/3/11~6/8	「西洋絵画、どこから見るか？」 ールネサンスから印象派まで サンディエゴ美術館 vs 国立西洋美術館	国立西洋美術館
	2025/6/7~6/22	EIKICHI YAZAWA 50th Year Memorial Exhibition 「俺たちの矢沢永吉」展	横浜赤レンガ倉庫 1 号館
	2025/7/12~10/13	特別展「氷河期展～人類が見た4万年前の世界～」	国立科学博物館
	2025/7/24~8/27	平成レトロ展	西武渋谷店 A 2階

健康経営



「健康経営優良法人 2025 (大規模法人)」~ホワイト 500~に
昨年度に引き続き認定

TBS ホールディングスおよびTBS テレビは、2025年3月10日、経済産業省および日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人 2025 (大規模法人部門)」~ホワイト 500~に認定されました。
民放キー局の中で唯一の認定局となり、認定は昨年度に続いて2度目となります。

TBSホールディングスは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みをグループ全体で一層強化・加速するため、2021年10月1日付で、代表取締役社長を委員長、ESG戦略責任者である取締役を副委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置しました。

健康経営は、「サステナビリティ委員会」傘下の「ウエルネス・ワーキンググループ」とウエルネス推進部が中心となり、TBSグループをはじめ、東京放送診療所、および東京放送健康保険組合と協力して、安全で働き甲斐のある創造性を発揮できる職場づくりを目指し、取り組んでいます。

ESG投資指数



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan Index

- ・ FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Index 構成銘柄に初選定
- ・ FTSE Blossom Japan Sector Relativeの構成銘柄に 2年連続で選定

※いずれもグローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成したESG指数

環境対応



- ・ 2年連続で「B」スコアを獲得（8段階中、上から3番目のスコア）
- ・ 「B」スコアは、環境問題によるリスクや影響のトラッキング、管理を行っている「マネジメントレベル」という位置づけ

※国際NGOである英国のCDPが企業の環境に対する取り組みや情報開示について実施する評価

2024年度 通期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

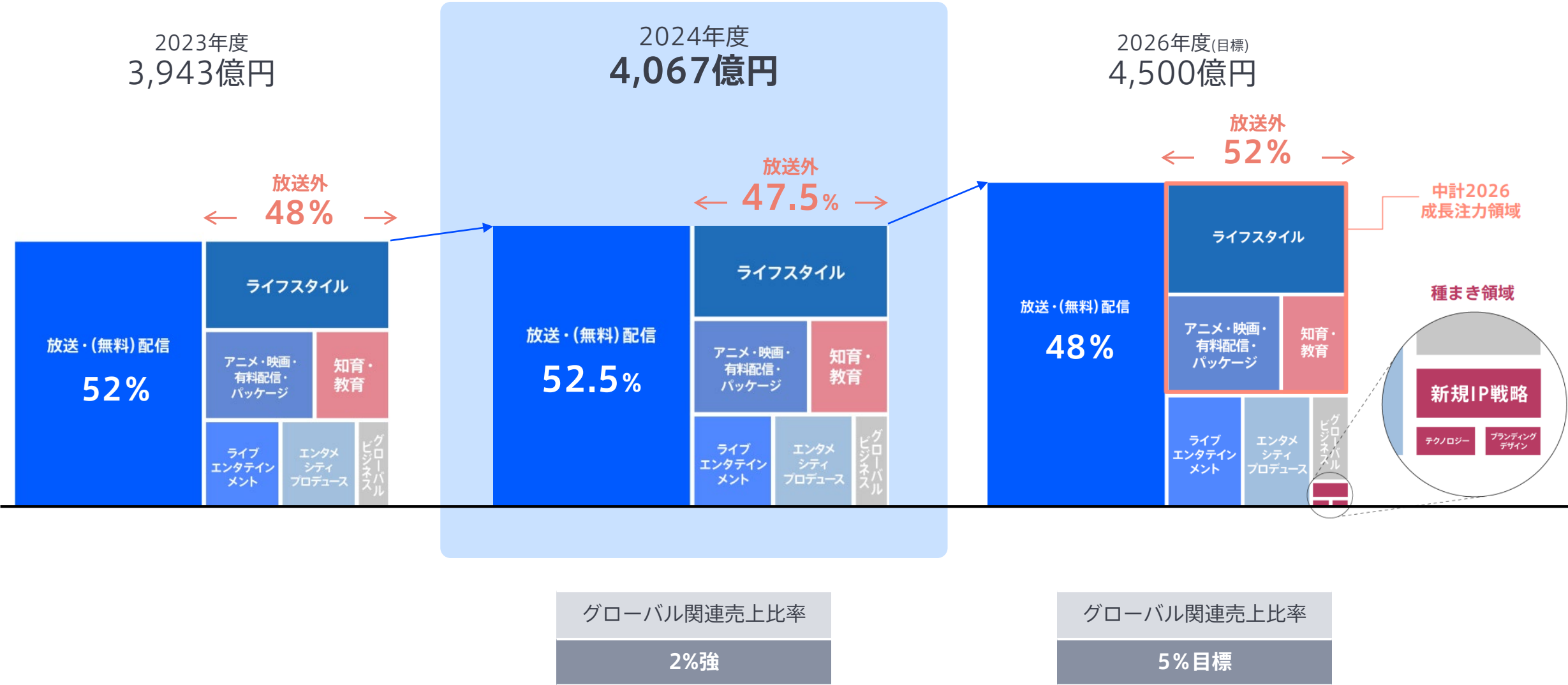
株主還元

TBSグループ中期経営計画2026の進捗

その他トピックス

▶ **参考資料**

放送事業と放送事業以外の収入割合

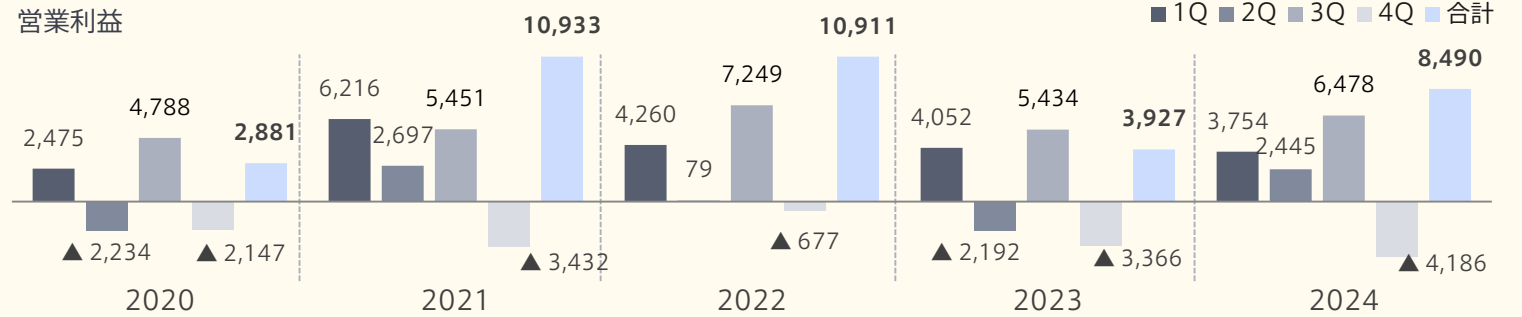
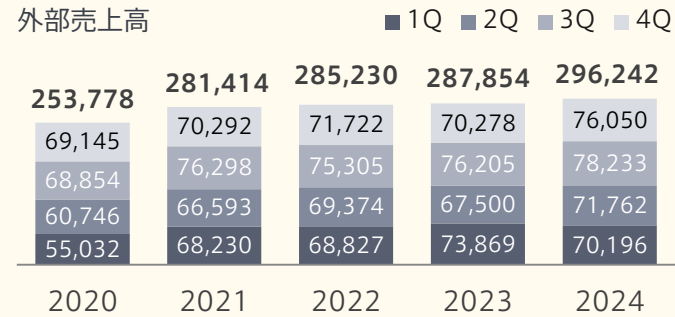


連結セグメント別 経年推移

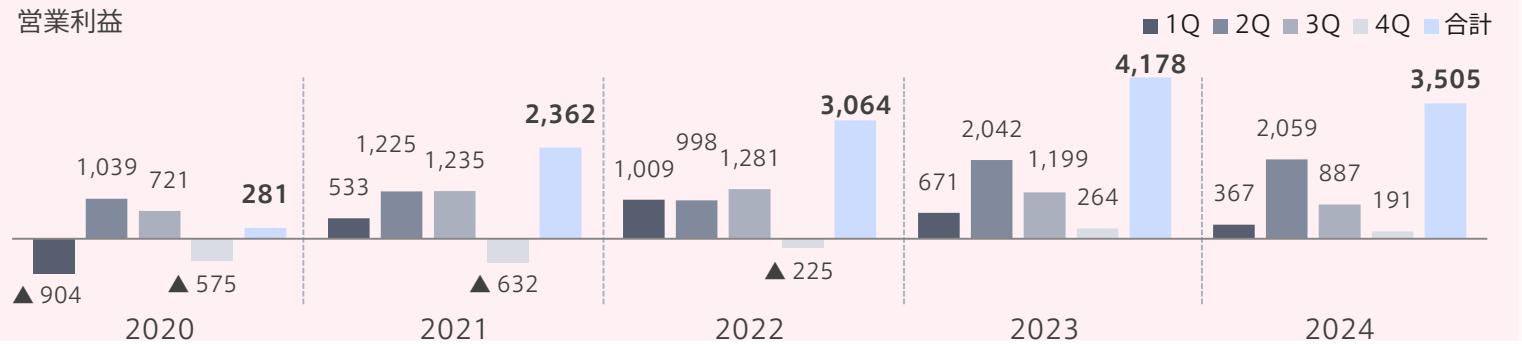
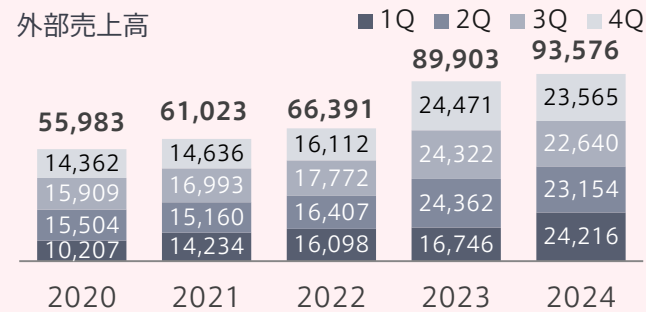
TBS

単位：百万円

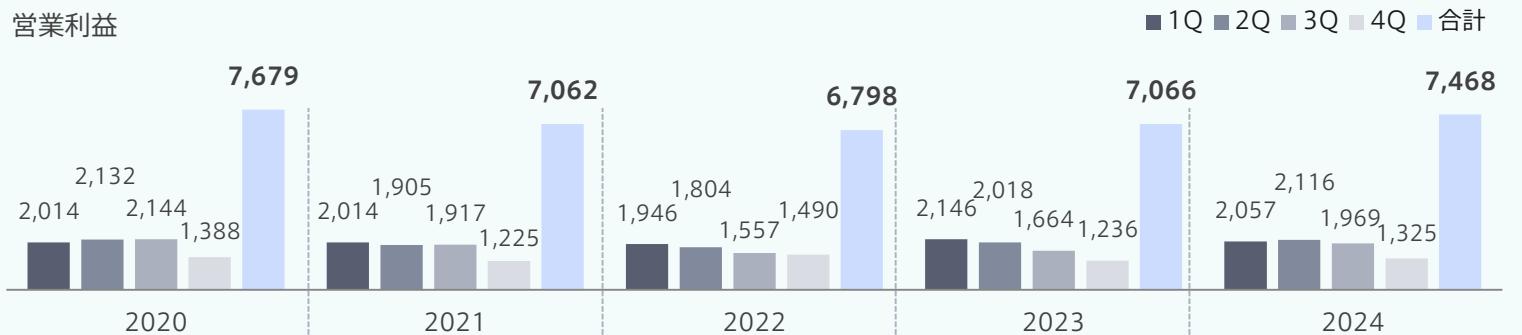
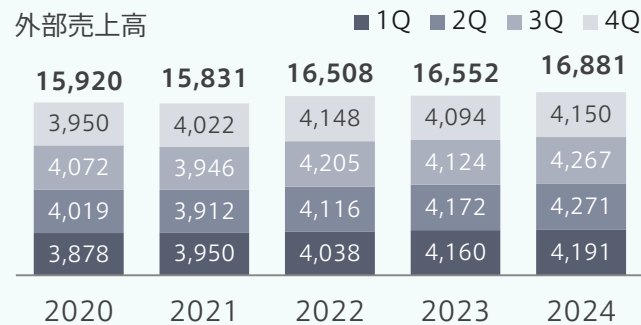
メディア・コンテンツ



ライフスタイル



不動産・その他



設備投資と減価償却費

TBS

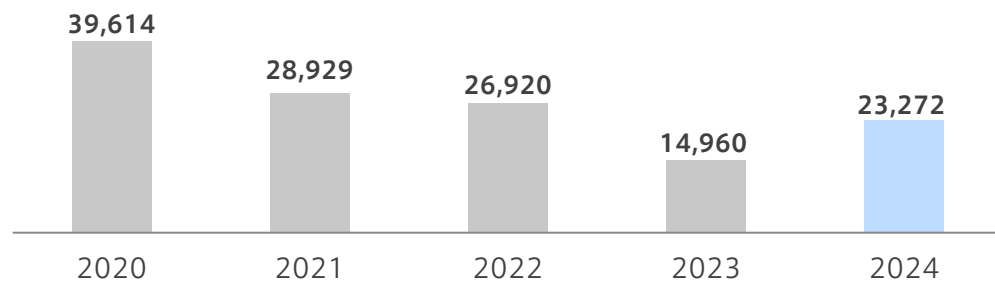
連結	2024年度	前年差	2025年度 予想
設備投資	23,272	+8,311	14,500
減価償却費	14,832	+554	15,000

単位:
百万円

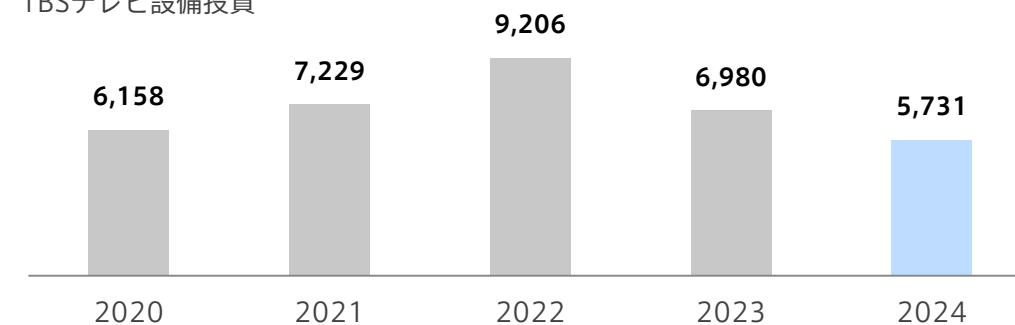
TBSテレビ	2024年度	前年差	2025年度 予想
設備投資	5,731	▲1,248	6,900
減価償却費	7,768	▲93	7,900

単位:
百万円

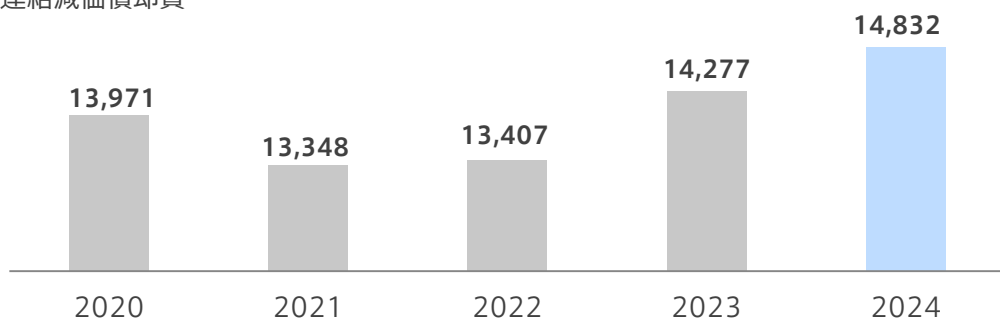
連結設備投資



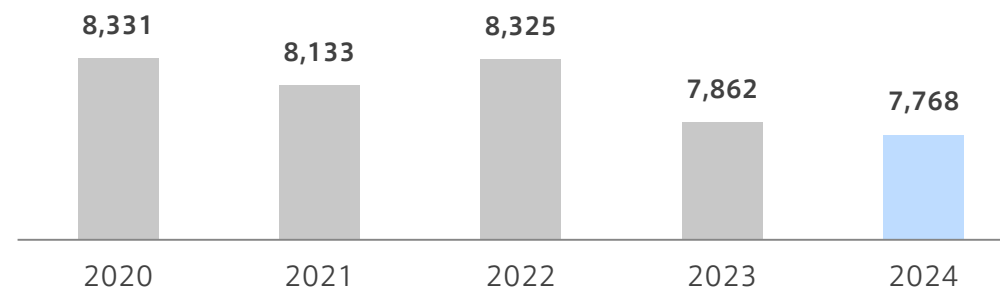
TBSテレビ設備投資



連結減価償却費



TBSテレビ減価償却費



連結貸借対照表

	2024年 3月末	2025年 3月末	比較		2024年 3月末	2025年 3月末	比較	単位: 百万円
流動資産	154,399	202,958	+48,558	流動負債	94,993	109,782	+14,789	
				固定負債	322,564	237,109	▲85,454	
				負債合計	417,557	346,892	▲70,665	
固定資産	1,413,105	1,093,167	▲319,938	自己資本	1,137,659	935,712	▲201,946	
				非支配株主持分	12,287	13,520	+1,232	
				純資産 合計	1,149,947	949,232	▲200,714	
資産合計	1,567,504	1,296,125	▲271,379	負債 純資産 合計	1,567,504	1,296,125	▲271,379	

期末有利子負債残高 138億円 （前期末比 +100億円）

※ リース債務は除く

連結キャッシュ・フロー計算書

	2023年度	2024年度	前年差
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,535	23,283	▲3,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲29,556	13,645	+43,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲51,012	▲6,106	+44,906
現金及び現金同等物の増減額	▲53,890	30,878	+84,769
現金及び現金同等物の期首残高	97,589	43,698	▲53,890
現金及び現金同等物の期末残高	43,698	74,577	+30,878

単位:
百万円

LTV4-59視聴率(4-59歳)

ゴールデン・プライム帯に加え、
全日帯でも1997年の個人視聴率の調査開始以降、初の2位

(※ [] 内は前年差 単位 : %)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
T B S	②1.8 [0.0]	②3.6 [+0.1]	②3.5 [+0.1]	③1.3 [▲0.1]
日本テレビ	①2.8	①4.7	①4.4	①2.3
テレビ朝日	④1.5	④2.8	④2.9	④1.1
テレビ東京	⑥0.6	⑥1.7	⑥1.5	⑥0.3
フジテレビ	②1.8	③3.1	③3.0	②1.4
N H K	⑤1.0	⑤2.1	⑤1.9	⑤0.8
PUT	10.6[▲0.5]	19.6 [▲0.8]	18.6[▲0.9]	8.4 [▲0.3]

PUT低下の中、キー局で唯一、全時間帯視聴率UPを記録

(※ [] 内は前年差 単位：%)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
T B S	③2.8 [+0.1]	④4.4 [+0.2]	④4.2 [+0.1]	③2.4 [+0.1]
日本テレビ	②3.4	①5.3	②5.0	①3.0
テレビ朝日	①3.5	①5.3	①5.3	①3.0
テレビ東京	⑥1.2	⑥3.0	⑥2.6	⑥0.7
フジテレビ	⑤2.2	⑤3.5	⑤3.4	⑤1.9
N H K	③2.8	③5.0	③4.3	③2.4
PUT	18.6[▲0.2]	30.6 [▲0.5]	28.5[▲0.6]	15.8 [▲0.1]

(2024/4/1 ～ 2025/3/30：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

タイム・スポット収入対前年比

単位：
百万円

	タイム			スポット				備考
	2024年度	前年差	増減率	2024年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	6,890	▲339	▲4.7%	7,100	▲100	▲1.4%	▲1.5%	
5月	6,408	+27	+0.4%	6,350	▲138	▲2.1%	▲1.4%	
6月	6,988	+933	+15.4%	6,061	+109	+1.8%	+3.2%	タイムは、「バレーボールネーションズリーグ」で、増収。
7月	6,439	+50	+0.8%	6,572	+302	+4.8%	+5.1%	
8月	7,219	▲343	▲4.5%	5,339	+334	+6.7%	+4.1%	
9月	6,055	▲885	▲12.8%	6,391	+1,101	+20.8%	+11.1%	タイムは、前年の「アジア大会」の反動減。スポットは反動増。
10月	6,661	▲898	▲11.9%	7,430	+903	+13.8%	+4.2%	タイムは、前年の「アジア大会」の反動減。スポットは反動増。
11月	7,634	+1,013	+15.3%	7,659	+398	+5.5%	+6.0%	タイムは、「世界野球プレミア12」で、増収。
12月	7,421	+107	+1.5%	7,713	+495	+6.9%	+4.2%	タイムは、年末年始セールス（12月分）過去最高により、増収。
1月	7,130	+83	+1.2%	6,796	+754	+12.5%	+2.5%	
2月	5,538	▲101	▲1.8%	6,409	+289	+4.7%	▲15.2%	
3月	6,876	+27	+0.4%	8,531	+128	+1.5%	▲11.4%	
1Q	20,287	+621	+3.2%	19,512	▲129	▲0.7%	▲0.1%	
2Q	19,714	▲1,178	▲5.6%	18,302	+1,737	+10.5%	+6.8%	
3Q	21,717	+222	+1.0%	22,802	+1,797	+8.6%	+5.1%	
4Q	19,545	+9	+0.0%	21,737	+1,172	+5.7%	▲8.3%	
通期	81,264	▲325	▲0.4%	82,355	+4,578	+5.9%	+0.6%	

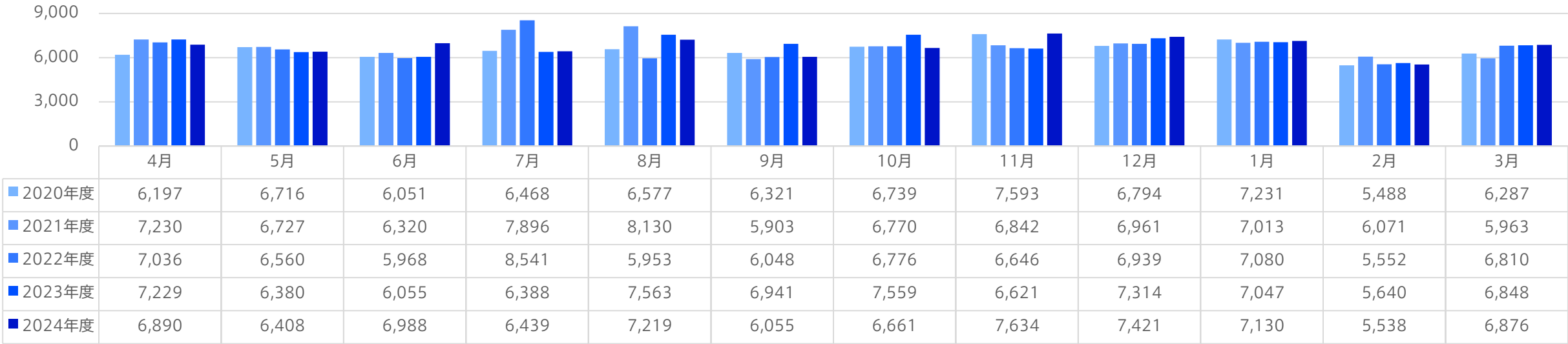
スポット5局シェア（推計） 四半期推移

2020年度 19.7%（累計）				2021年度 20.1%（累計）				2022年度 20.6%（累計）				2023年度 20.5%（累計）				2024年度 21.5%（累計）			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
20.5	20.2	19.4	19.3	20.4	20.3	19.7	20.0	21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6	20.2	20.1	20.8	21.4	20.9	23.2

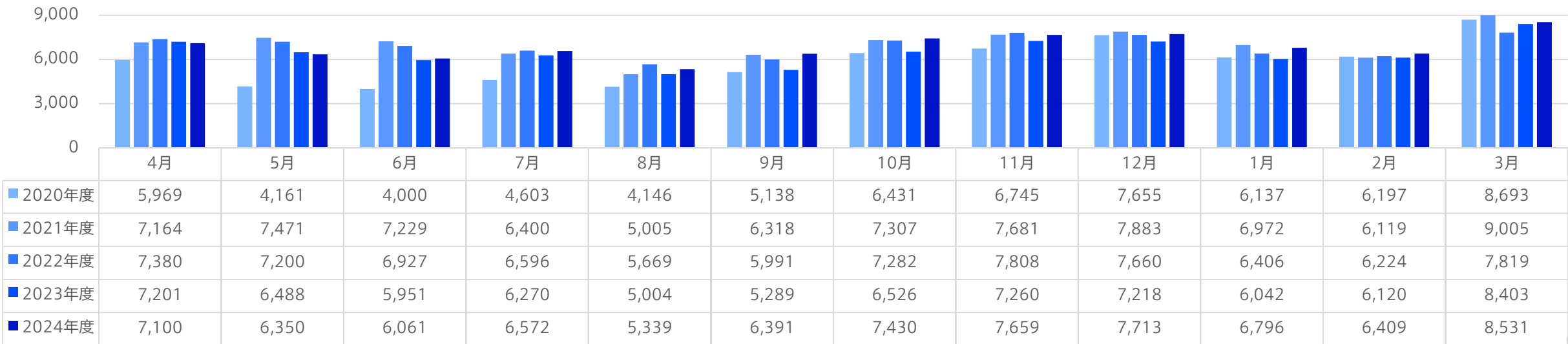
タイム・スポット収入 経年推移

タイム収入

単位：百万円



スポット収入



業種別スポット売上順位

単位：％

	2024年度	増減率	シェア	2023年度	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	▲5.3	15.1	情報・通信・放送	▲12.9	16.9
2	酒・飲料	▲1.1	10.0	酒・飲料	+9.6	10.7
3	食品	▲0.9	8.9	食品	+9.0	9.5
4	外食・サービス	+7.9	8.6	外食・サービス	▲15.6	8.4
5	医薬品	▲4.2	6.6	医薬品	+0.9	7.3
6	交通・レジャー	+1.7	6.0	交通・レジャー	+22.6	6.2
7	化粧品・トイレタリー	+21.0	5.8	金融	▲15.3	5.3
8	金融	+9.9	5.5	化粧品・トイレタリー	+9.1	5.1
9	不動産・建設	+33.2	5.4	エンタテインメント・趣味	+6.7	4.5
10	自動車・輸送機器	+35.1	5.1	不動産・建設	▲16.1	4.3

※ 順位は金額順

連結会社一覧

※ 2025年3月末現在

メディア・コンテンツ/不動産・その他(1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ(15社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) CS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグロウディア

(株) TBSアクト

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント(株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE SEVEN

Bellon Entertainment Inc.

TBS KOREA, INC.

ライフスタイル(7社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) やる気スイッチグループホールディングス

(株) やる気スイッチグループ

(株) やる気スイッチキャリア

(株) YPスイッチ

(株) 寺小屋グループ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給(株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(6社)

(株) リトプラ

(株) WOWOW

(株) Amazing Sports Lab Japan

(株) YGC

(株) U-NEXT

台湾拓人教育事業股份有限公司